

安芸太田町地域公共交通網形成計画



平成 29 年 3 月

安芸太田町

目次

第1章 はじめに	1
1. 計画策定の目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の区域	2
4. 計画の期間	2
第2章 安芸太田町の概況	3
1. 位置・地勢	3
2. 人口	4
3. 日常生活圏	6
4. 移動目的地となる主要施設の立地状況	7
5. 観光	8
6. 上位・関連計画の整理	10
6-1. 第二次安芸太田町長期総合計画	10
6-2. その他関連計画	14
6-3. 安芸太田地域公共交通総合連携計画	15
第3章 公共交通の運行状況及び利用実態と問題点の整理	17
1. 公共交通の変遷	17
2. 公共交通の現状と問題点の整理	18
2-1. 公共交通の現状とアクセシビリティ（利用のしやすさ）	18
2-2. 公共交通の利用状況と行政負担	20
2-3. 公共交通不便地域の状況	22
2-4. 路線バスの現状	23
2-5. 町内バスの現状	28
2-6. あなたくの現状	32
2-7. 交通結節点の現状	39
2-8. 福祉輸送・ボランティア輸送サービスの現状	41
2-9. タクシーの現状	43
2-10. スクールバスの現状	44
3. 公共交通に関する住民アンケート調査	45
3-1. アンケート調査の概要	45
3-2. 調査結果	45

3-3. 総論	52
第4章 公共交通に関する課題と公共交通が果たすべき役割	53
1. 公共交通の課題	53
1-1. 公共交通網に関する課題.....	53
1-2. 利用促進に関する課題.....	57
1-3. 協働・連携に関する課題	59
2. 公共交通が果たすべき役割	59
第5章 安芸太田町地域公共交通網形成計画の基本方針と目標及び数値指標	60
1. 計画の基本的な方針	60
2. 本町が目指すべき公共交通網のすがた	61
2-1. 再編の方針	61
2-2. 再編に向けた考え方	62
2-3. 再編に向けた検討課題図.....	67
2-4. 各種交通機関の役割	68
3. 計画の目標と数値指標・目標値.....	69
第6章 目標達成のための具体的な事業	72
1. 目標を達成するための事業内容と実施主体	72
1-1. 施策の体系図.....	72
1-2. 事業内容と実施主体.....	73
2. 事業スケジュール	81
第7章 計画の達成状況の評価	82

第1章 はじめに

1. 計画策定の目的

人口減少、少子高齢化、マイカーの普及拡大、ライフスタイルや移動ニーズの多様化等により、公共交通を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、地方都市を中心に利用者の減少が続いている。これは本町においても例外ではなく、高齢化率は広島県内の市町で最も高く、人口減少も急速に進んでいる。

一方で、公共交通の確保・維持は、マイカーを自由に利用できない人の日常生活における移動の確保だけでなく、環境保全や健康増進、観光振興など、まちづくりの様々な分野に効果をもたらすとされている。

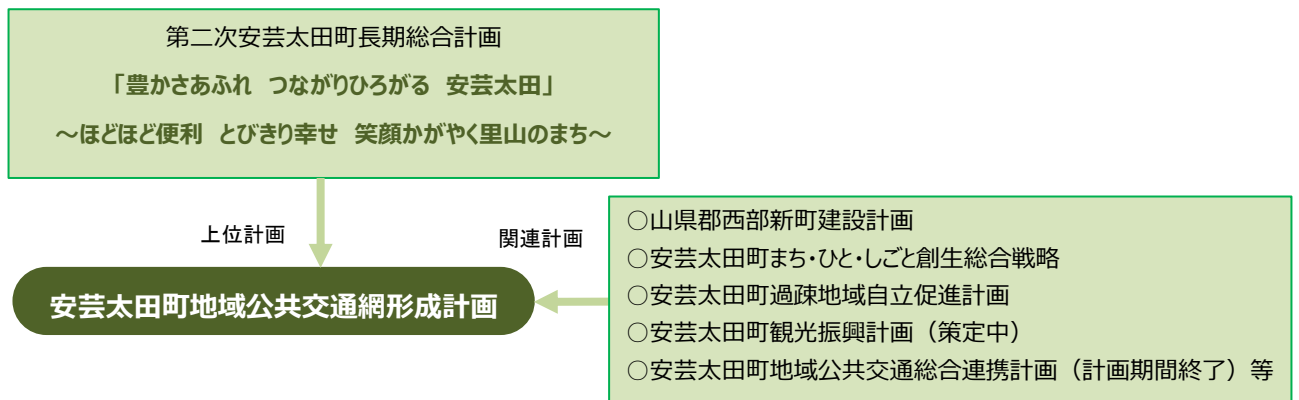
こうした観点から、地域住民や関係者の合意の下に、持続可能な地域公共交通網を形成するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律が平成26年5月21日に公布され、同年11月20日に施行された。

本町においても、高齢者など交通弱者の移動手段をどのように確保するのかなど、今後想定される超過疎化・超高齢化社会に即した公共交通のあり方や、日常生活圏域である広島市へのアクセス維持・確保を、地域住民や運行事業者、行政と一緒に検討することにより、今後のまちづくりに繋げる必要がある。

そこで、改正法に定められている「地域にとって望ましい地域公共交通網のすがた」を明らかにするマスタープランとしての役割を果たす地域公共交通網形成計画を策定するものである。

2. 計画の位置づけ

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画であり、町の基本的な施策の方向性を示す「安芸太田町第二次長期総合計画」（平成27年度から平成36年度までの10年間の計画期間）を上位計画とし、町の各種関連計画を踏まえて策定する。



3. 計画の区域

本計画は、安芸太田町全域を対象とする。

4. 計画の期間

本計画の計画期間は、平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間とする。

第2章 安芸太田町の概況

1. 位置・地勢

- ・ 本町は、広島県の北西部、西中国山地の中央に位置する山間の町である。一部の地域では「豪雪地帯」の指定を受けており、冬期には積雪 1m以上に達する集落もある。平成 16 年 10 月に旧加計町、旧筒賀村、旧戸河内町の 2 町 1 村による合併（新設合併）で誕生した町であり、旧戸河内町役場に役場本庁を、旧加計町役場、旧筒賀村役場に各支所を設置した。
- ・ 町の北西部には標高 1,346m の恐羅漢山を筆頭に、1,000m 前後の山々が連なっている。このエリアは太田川の上流部に位置し、三段峡などの観光スポットがある。町の南部には中国自動車道路、国道 191 号、186 号及び 433 号が交差しており、その沿線に連なる狭小な平地に集落が点在している。

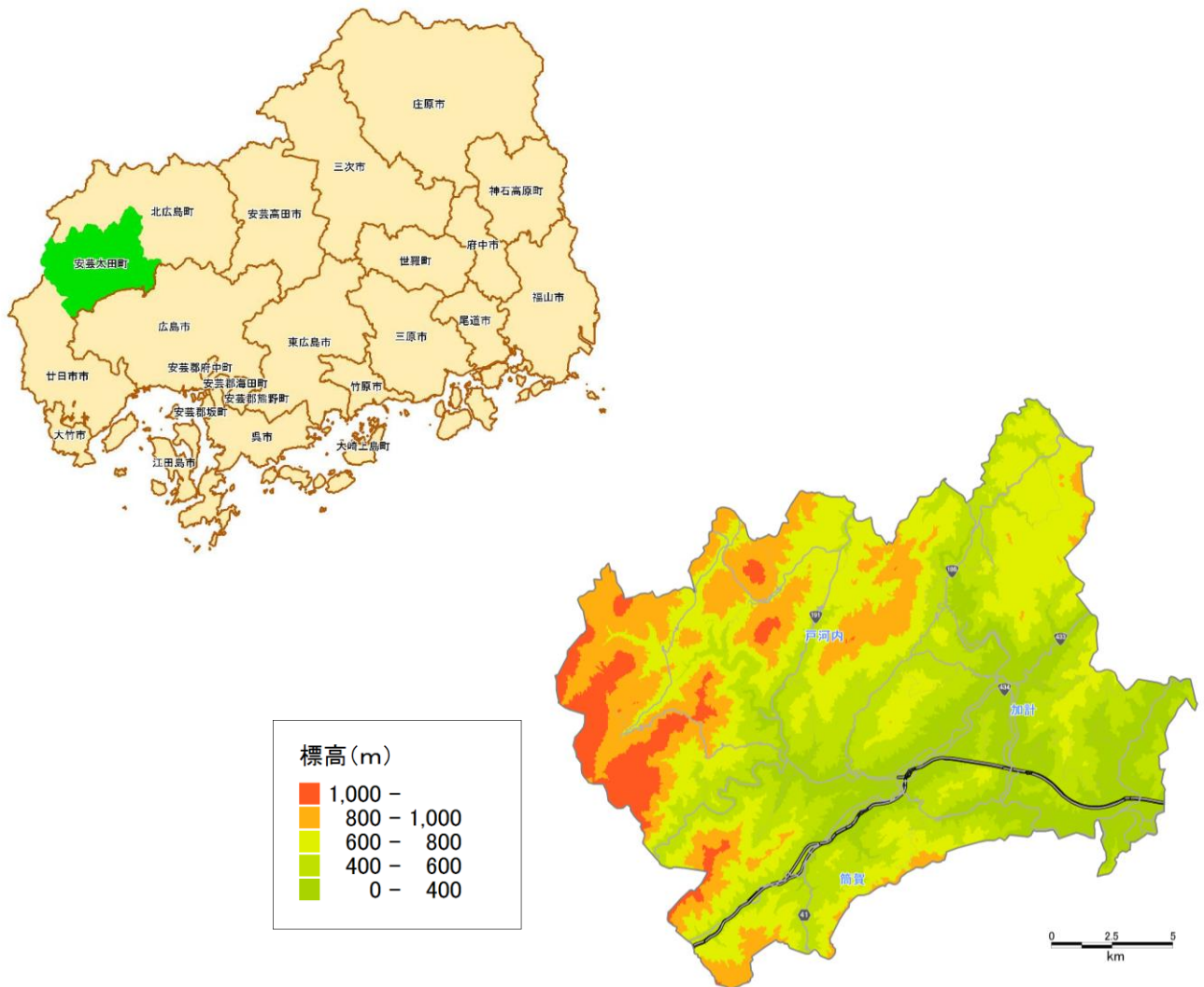


図 2-1 位置、地勢

2. 人口

① 人口分布

- ・ 人口は町の南部を中心に、幹線道路である国道 191 号、186 号及び 433 号沿線に多く集中している。それ以外は、町全体として幹線道路沿いに、小規模の集落が広範囲に点在している。

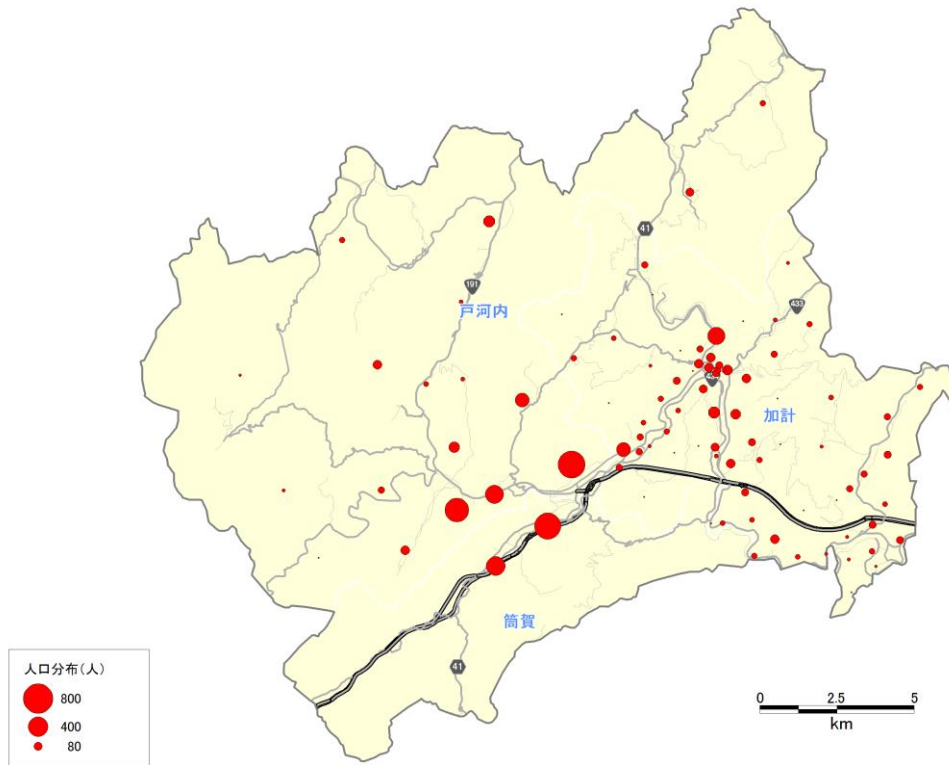


図 2-2 人口分布

資料：平成 22 年国勢調査

② 地域別高齢化率と将来人口推計

- ・ 平成 27 年 10 月現在、住民基本台帳において、人口 6,829 人（H27 国調速報値では、6,460 人）、3,253 世帯、高齢化率 47.8%となっており、全 48 自治振興会のうち、高齢化率が 50%を上回る自治振興会は、半数以上の 27 となっている。
- ・ 将来人口は急速に縮小すると予想されており、平成 32 年で 5,605 人、高齢化率 52.3%になると推計されている。

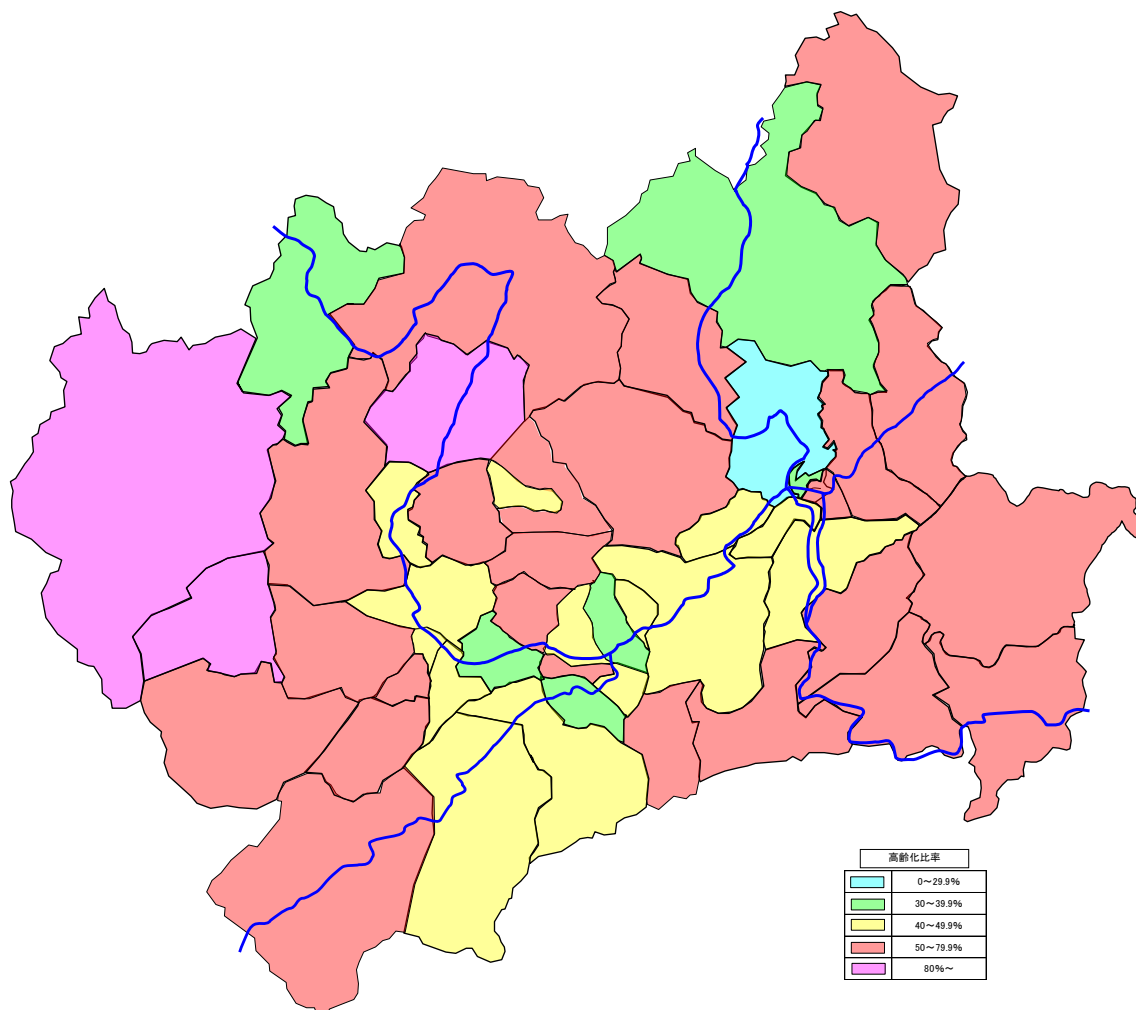


図 2-3 高齢化率

資料：平成 27. 10 住民基本台帳

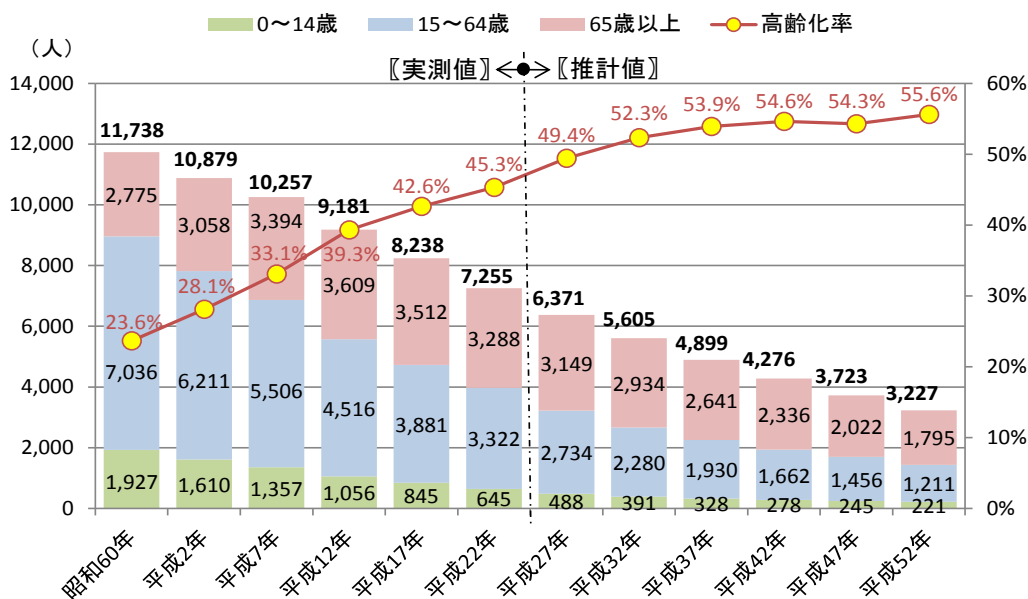


図2-4 安芸太田町の人口の推移と将来推計

資料：昭和60年～平成22年は国勢調査、平成27年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計値

3. 日常生活圏

- 町外への移動では、広島市が最も多く556人で、次いで北広島町の112人となっており、高速道路による通勤・通学利便性が関連している。
- 本町にとって広島市は、就職・就学・医療・買い物など、日常生活において非常に結びつきが強く、広島市とを結ぶ公共交通の維持・確保は重要な課題である。

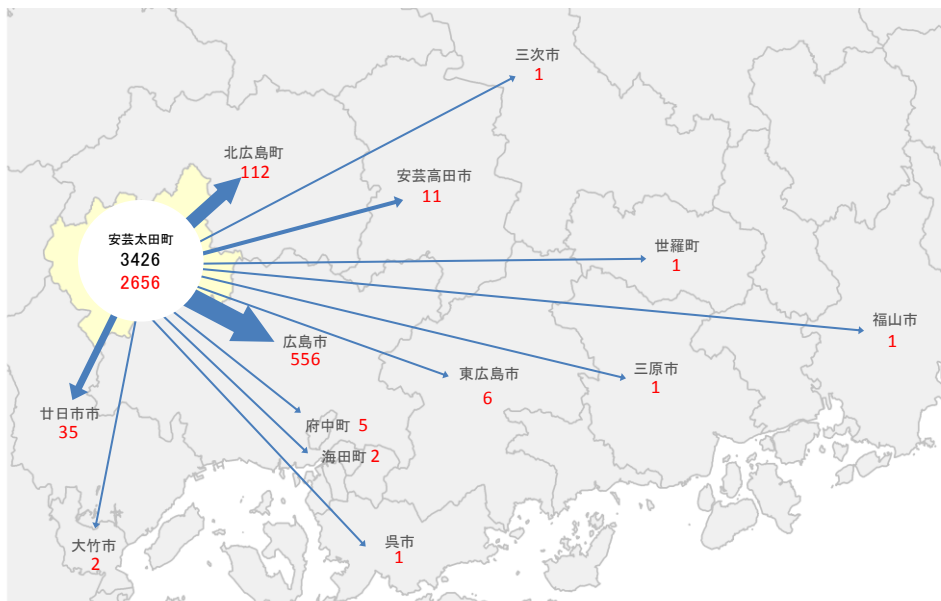


図2-5 通勤通学による人口流動

資料：平成22年国勢調査

4. 移動目的地となる主要施設の立地状況

- ・ 主要施設は、南部を中心に分布しており、特に幹線道路である国道 186 号、191 号、及び 433 号に集積している。
- ・ 複数の診療科を有する安芸太田病院のほか、医院・クリニックが南部を中心に立地している。
- ・ 旧加計町の中心部に加計ショッピングセンターがあり、地域の買物拠点となっている。



図 2-6 主要施設の立地状況

5. 観光

- ・ 自然豊かな観光資源が町内に点在している。近年は森林セラピー®基地に認定され「森林セラピーのまち」としてPRに力を入れており、三段峡や恐羅漢など4エリア5か所のセラピーロードで森林セラピー体験を行っている。
- ・ 温井ダムの観光客数のカウント方法を変更したことにより、平成23年に観光客数が一旦大幅に減少したが、それ以降は増加傾向にある。
- ・ バスによる来訪者は平成23年以降横ばいの状況だったが、平成26年増加に転じている。
- ・ 三段峡はフランスの旅行ガイドブックに掲載された影響もあり、近年町内を来訪する外国人観光客が増加しており、平成25年は686人だったが、平成27年は968人と増加傾向にある。



図 2-7 観光地

資料：安芸太田町観光協会 HP

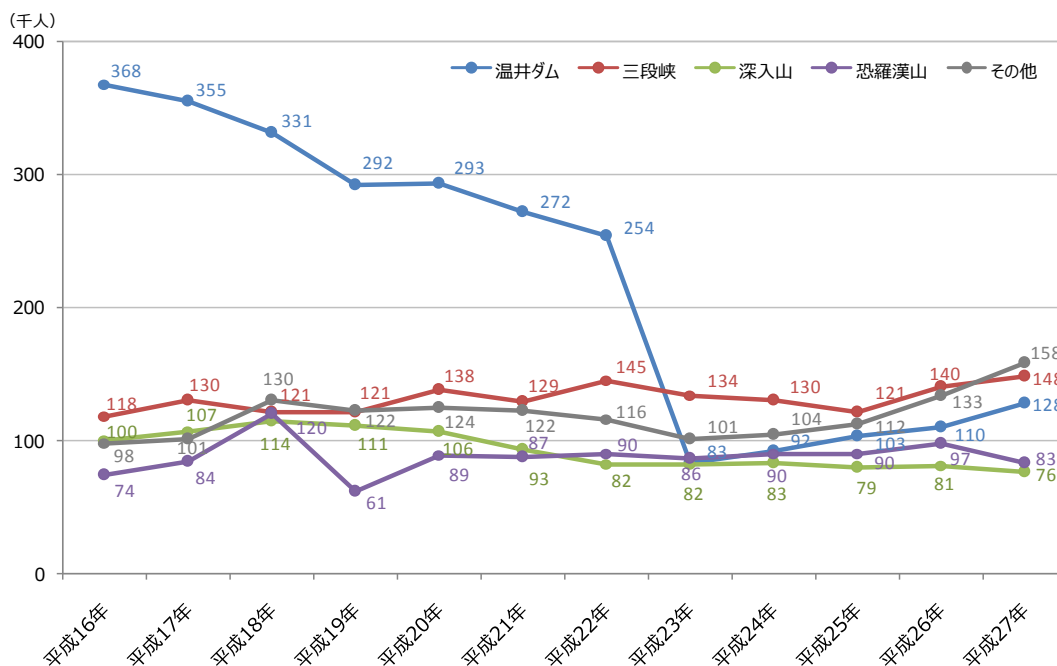


図 2-6 目的地別観光客数

資料：広島県観光客数の動向（広島県）

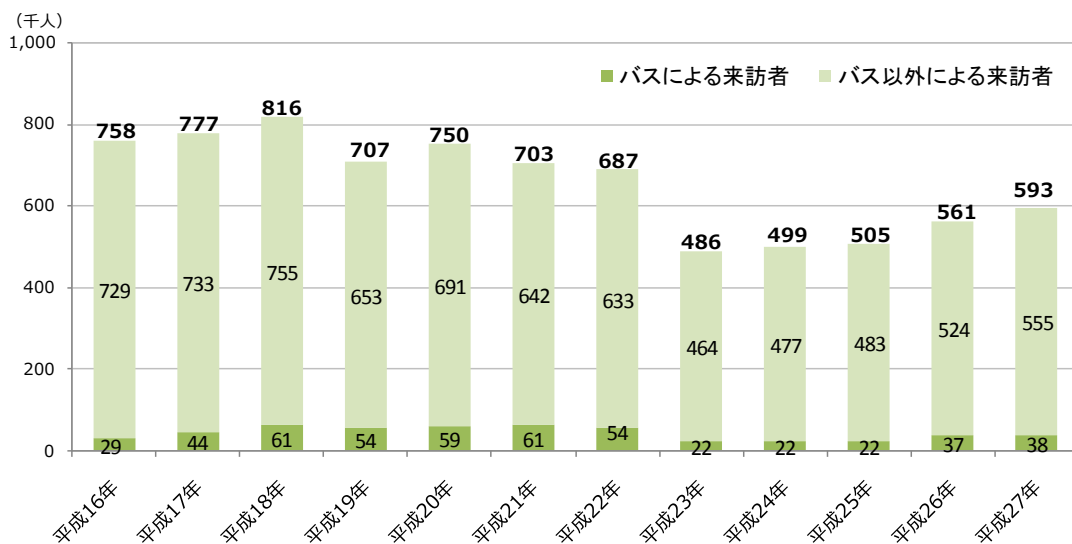


図 2-7 総観光客数

資料：広島県観光客数の動向（広島県）

6. 上位・関連計画の整理

6-1. 第二次安芸太田町長期総合計画

① めざす将来像

- ・ 将来像を「豊かさあふれ つながりひろがる 安芸太田」と設定し、「豊かな自然」と「人情」を強みに、町内外に人と人とのつながりが広がるまちを目指す。

豊かさあふれ つながりひろがる 安芸太田 ～ほどほど便利 とびきり幸せ 笑顔かがやく里山のまち～

安芸太田町は、広島デルタを形成した太田川の源流域に位置し、県内最高峰の恐羅漢山をはじめとする山々に囲まれ、美しい自然環境とともに産業や暮らしを築いてきました。
また、政令指定都市の広島市に隣接するため、ほどよい利便性を享受しながらも、人と人の顔が見えるつながりを大切に、人情のある地域コミュニティを守り、育ててきました。
このような環境の中、安芸太田の資源である「豊かな自然」と「人情」を強みに、町内外に人と人とのつながりが広がるまちをめざします。

ほどほど：ちょうど良い程度、適度という意味合いで用いています。(参照：広辞苑)

② まちづくりの基本方向（※公共交通関連部分を抜粋）

- ・ 公共交通に関連するまちづくりの基本方向は、身近な利便性を確保する取組みを進めることとしている。

5 生活利便性・環境 ～ゆるやかにつながっているやさしいまち～ アンケート結果

⇒地域で支え合えるつながりや、都市に近接し公共交通の新たな仕組みなどが提供され、ほどほどの利便性が確保されていることに安心を感じています。

⇒一方で、生活利便性の一層の充実を求める声もあります

⇒住民の多くは「自然環境」を「町の魅力や誇り」、「これからのまちづくりに生かすべき特色」と感じています。

- 住民生活を支える公共交通や道路網については、これまでのまちづくりの成果を十分に活かすことで、身近な利便性を確保する取組みを進めます。
- 情報通信基盤については、光回線の整備が完了したことから、住民生活や産業活動等へ積極的に活かすまちづくりを進めます。
- 情報通信基盤の充実により、世代間等で新たな情報格差が発生しないための取組みを進め、情報共有を大切にしたいまちづくりを進めます。
- 西中国山地の豊かな森林環境や太田川、三段峡など、恵まれた自然環境を保全し、後世に継承していきます。
- 美しい環境を守るために、住民・事業者・行政が一体となってごみの減量化や資源の有効利用を行い、環境保全に配慮した循環型社会¹の構築に努めます。

③ 基本計画（※公共交通関連部分を抜粋）

- ・ 生活利便性の高い交通体系が確保され、居住地域や年齢等に関わらず、標準的な日常生活を送ることができることを目指している。
- ・ 具体的には、「利用しやすい公共交通体系の整備」、「広島市と繋がる主要幹線バス路線の維持」、「生活バスの維持」を掲げている。

第3項 人・情報の行き交うまちをつくります

1 快適で利用しやすい公共交通環境をつくります

現況と課題

町内各地域で高齢化が進展するなか、高齢者や交通弱者の移手段の維持、確保がますます大きな課題となっています。

- 自家用車利用者の増加
- 利用者減少によるバス路線事業の運営困難化
- 自家用車が利用できない世帯等の生活交通支援
- 運行事業者と連携した公共交通サービス体制の見直し
- 地域の現状に合せた新たな交通体制の確保

めざす住民生活の状態

- ・ 生活利便性の高い交通体制が確保され、居住地域や年齢等に関わらず、標準的な日常生活を送ることができます。

施策の展開方針

町内各地域で高齢化が進展するなか、高齢者や交通弱者の移手段の維持、確保がますます大きな課題となっています。

このため、あなたく制度のさらなる充実や利用促進策の実施等に取り組み、周辺地域等においても利用しやすい公共交通体系の確立に努めます。

路線バスについては、重要な通学手段も担っています。このため、児童・生徒の就学機会の公平性を確保する観点から、スクールバス、路線バスの混乗の検討に取り組みます。

高齢化や過疎化の一層の進展に伴い、制度運用だけでは通院や買い物等のための移手段が確保できないケースが増加することも想定されます。このため、コミュニティ活動等によるインフォーマルな助け合いの仕組みづくりを構築できるよう、規制緩和や低廉・安全で利用しやすい新たな乗り合い移手段に関する仕組みづくりについての検討を行うこととします。

目標指標	現状値(平成25年度)	目標値(平成31年度)
利便性の高い公共交通の整備に関する満足度スコア	16.8%	30.0%

主要施策項目

1. 快適で利用しやすい公共交通環境をつくります

(1) 利用しやすい公共交通体系を整えます

(2) 広島市と繋がる主要幹線バス路線を維持します

(3) 生活バスを維持します

個別施策の展開

(1) 利用しやすい公共交通体系を整えます

- ・将来にわたって持続可能な公共交通体系の計画策定を行うとともに、多様な移動手段確保のための事業者の支援を行い、交通手段の利便性の向上を図ります。

個別施策目標指標	現状値(平成25年度)	目標値(平成31年度)
公共交通の利用者数	185千人	185千人

(三段幹線、町内路線バス及びあなただくの利用者数延べ数)

【主な取組】	H27	H28	H29	H30	H31	担当課関係団体等
将来にわたって持続可能な公共交通体系の計画検討		→				地域づくり課
多様な移動手段確保のための事業者支援					→	地域づくり課 福祉課

(2) 広島市と繋がる主要幹線バス路線を維持します

- ・近隣市町や路線バス会社との連携等によりバス利用を促進し、住民の生活利便性の維持・確保や観光客の来訪促進のための便利で快適な公共交通環境の維持を図ります。

個別施策目標指標	現状値(平成25年度)	目標値(平成31年度)
幹線バス利用者数	141千人	141千人

(三段幹線利用者数延べ数)

【主な取組】	H27	H28	H29	H30	H31	担当課関係団体等
近隣市町や路線バス会社との連携					→	地域づくり課
幹線バス便利用促					→	地域づくり課

(3) 生活バスを維持します

- ・近隣市町や路線バス会社との連携等によりバス利用を促進し、安心して住み続けることのできる移動手段の確保を図ります。

個別施策目標指標	現状値(平成25年度)	目標値(平成31年度)
幹線バス便数	13便	13便

(三原幹線の日便数)

【主な取組】	H27	H28	H29	H30	H31	担当課関係団体等
運行サービスの改善による利用促進と料金の見直し	検討					地域づくり課
近隣市町や路線バス会社との連携						地域づくり課
観光客、町外者の幹線バス便利用促進						地域づくり課
拠点バス停の適正な維持管理						地域づくり課



住民意見・提言

- ・あなたくを学校の移動手段に利用できるようにしてはどうか。
- ・スクールバスに高齢者も乗れるようにしてはどうか。
- ・小回りが利く自動車を利用してはどうか。
- ・住民も出資し、利用料金の安い交通手段を確保する。
- ・区分なく町民全員が利用できる公共交通をつくる。
- ・広島市内への通勤に適したバス便の充実を図ってはどうか。



6-2. その他関連計画

公共交通に関連する計画において示されている公共交通の役割や、関連する施策について概要を整理する。

表 2-1 関連計画の概要

計画名称（策定年次）	公共交通の役割	公共交通に関連する施策
安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略 （平成 27 年 10 月）	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって持続可能な公共交通体系の計画策定 ・多様な移動手段確保のための事業者支援 ・近隣市町や路線バス会社との連携強化 ・住民及び観光客等の町外者の公共交通利用促進
安芸太田町過疎地域自立促進計画 （平成 28 年 3 月）	<ul style="list-style-type: none"> ・住民生活の安全・快適性の確保 ・高齢者や交通弱者の移動手段の維持確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤交通網整備事業によるバス路線など公共交通機能の充実 ・デマンド型交通等を活用した集落支援型の交通体系の充実 ・公共交通利用のための住民への「啓発」 ・複数施策を組み合わせた公共交通の展開
安芸太田町観光振興計画 （※策定中）		

6-3. 安芸太田地域公共交通総合連携計画

① 計画の概要

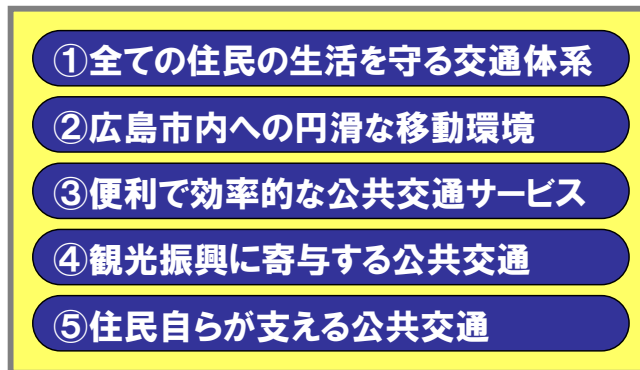
○対象地域

・安芸太田町全域

○計画期間

・平成 21 年～平成 25 年

○基本的な方針



○目標

①公共交通に係る経費削減

路線バスに対する運行補助やデマンド型乗合タクシーあなたくの運行委託費といった公共交通に係る経費の削減を目指します。

具体的には、4 条路線バスに対する運行補助費の 10%削減、地域内のみなし 4 条路線、あなたく等の運行経費の 10%削減を目標とします。

②全ての住民に活動機会を提供

高齢化が進む中、自動車を持たない高齢者、身体障害者、要介護認定者といった移動手段の有無によって生活利便性が大きく減少する住民の方に対して、適切な移動サービスを提供することによって、活動の機会を提供します。

③公共交通の利便性向上

本計画を通じて、各種の目的毎の移動ニーズに対して、利便性を向上させることを目標とします。

具体的には、高齢者等の町内への通院・買物、小中学生の通学、高校生の町内・広島市内への通学、一般住民の広島市内への移動、障害者・要介護者等の町内や広島市内への移動、来訪者の町内観光周遊に対して、現在よりも利便性を向上させることを目標とします。

② 事業の実施状況

表 2-2 事業の実施状況

種別	事業内容	実施状況	備考
広域路線 バス	経費削減に向けた三段峡線（急行便）の運行再編	実施	ダイヤの変更、急行便の廃止
	三段峡線（在来線）の利便性向上	実施	ダイヤの変更
	三段峡線（高速便）の利便性向上の検討	実施	西風新都経由の実証運行を実施したが、利用者が限定されたこと、沼田高校への通学が確認されたため、本格運行に至らず
地域内 公共交通	みなし4条路線の運行再編	実施	廃止路線代替バス塩明線をあなたく塩明線と統合、廃止路線代替バス温井線を廃止し、かわりに加計高速線を新設
	あなたく運行サービス見直し	実施	あなたく横川を月・水・木の週3日に変更
	（仮称）あなたくスペシャル（福祉有償運送とあなたくの中間的な輸送サービス）の運行	実施	実証運行を実施したが、利用者が限定されたため、本格運行に至らず
	観光振興に向けた観光タクシーの検討	未実施	観光振興施策における公共交通（観光タクシーなど）の役割、位置づけが明確になっておらず、運行事業者の機運醸成が図れなかった（アプローチ不足）
交通結節点 整備	交通結節点の待合環境向上	実施	戸河内 I Cバス停・ 役場前バス停・ 筒賀 Pバス停・加計 B Sバス停
	情報提供施策による乗り継ぎ利便性向上	実施	安芸太田病院内にモニター設置
公共交通 利用促進と 維持持続策	情報提供施策	未実施	町民等への情報提供が不十分であり、今後は積極的な情報発信に努める。
	地方型モビリティマネジメントの推進	実施	中学校で地域公共交通学習を実施 地域交通を題材にした取組支援等

第3章 公共交通の運行状況及び利用実態と問題点の整理

1. 公共交通の変遷

- ・ 平成 15 年度に国土交通省中国運輸局による ComPASS 構築の基礎データ収集のモデル地区に旧加計町が選定され、各種データ整備と分析を実施した。この取り組みにあわせて、緊急雇用対策事業によって、GIS の基礎データ整備を行った。
- ・ 平成 15 年度に、国土交通省中国運輸局によるデマンド型乗合タクシー「あなたく」の実証運行を安野地区で実施した。
- ・ 平成 16 年度に、町内 2 地区で「あなたく」の本格運行を開始した。
- ・ 平成 17 年度に、安芸太田町公共交通体系整備計画を策定し、町内の公共交通全体の運行について詳細な運行内容を計画した。
- ・ 平成 17～19 年において、町内の 8 地区で「あなたく」の運行を開始した。
- ・ 平成 20 年度に、安芸太田町地域公共交通総合連携計画を策定し、広域路線バスの再編、地域内公共交通の再編、交通結節点の機能向上、利用促進と利便性向上に係る事業を計画した。
- ・ 平成 20 年度に、横川地区であなたく運行（週 3 日：月・水・木）を開始した。
- ・ 平成 21 年度に、利用実態に合わせ JR 可部線廃止代替として運行していた三段峡線の再編（ダイヤの見直し及び急行便の廃止など）を実施した。
- ・ 平成 22 年度に、三段峡線（高速便）の西風新都経由の実証運行を行ったが、利用が限定されたこと、沼田高校の通学が確認されたことから本格運行には至らなかった。
- ・ 平成 22 年度に、「乗降介助」を行う「あなたく特別便」の実証運行を行ったが、利用者が限定されたため本格運行に至らなかった。
- ・ 平成 22 年度に、廃止代替バス塩明線をあなたく塩明線と統合した。
- ・ 平成 23 年度に、廃止代替バス温井線を廃止し、加計高速線を新設した。
- ・ 平成 24 年度に、田吹高齢者等生活支援協議会により、田吹地域でボランティア輸送が開始された。
- ・ 平成 27 年度に、NPO 法人上殿未来会議により、上殿地域でボランティア輸送が開始された。

2. 公共交通の現状と問題点の整理

2-1. 公共交通の現状とアクセシビリティ（利用のしやすさ）

- ・ 本町の路線バスは、4 条路線バス（以下「路線バス」という。）3 路線及び廃止代替バス（以下「町内バス」という。）5 路線が運行されている。
- ・ 路線バスは、国道や中国自動車道といった幹線道路を運行している。
- ・ これら幹線交通に接続する形で、デマンド型乗合タクシー「あなたく」が各地区を運行しており、町内全域の高齢者等の移動手段として機能している。
- ・ 一部の地域では、町内バスとあなたくが同一エリアを運行している。

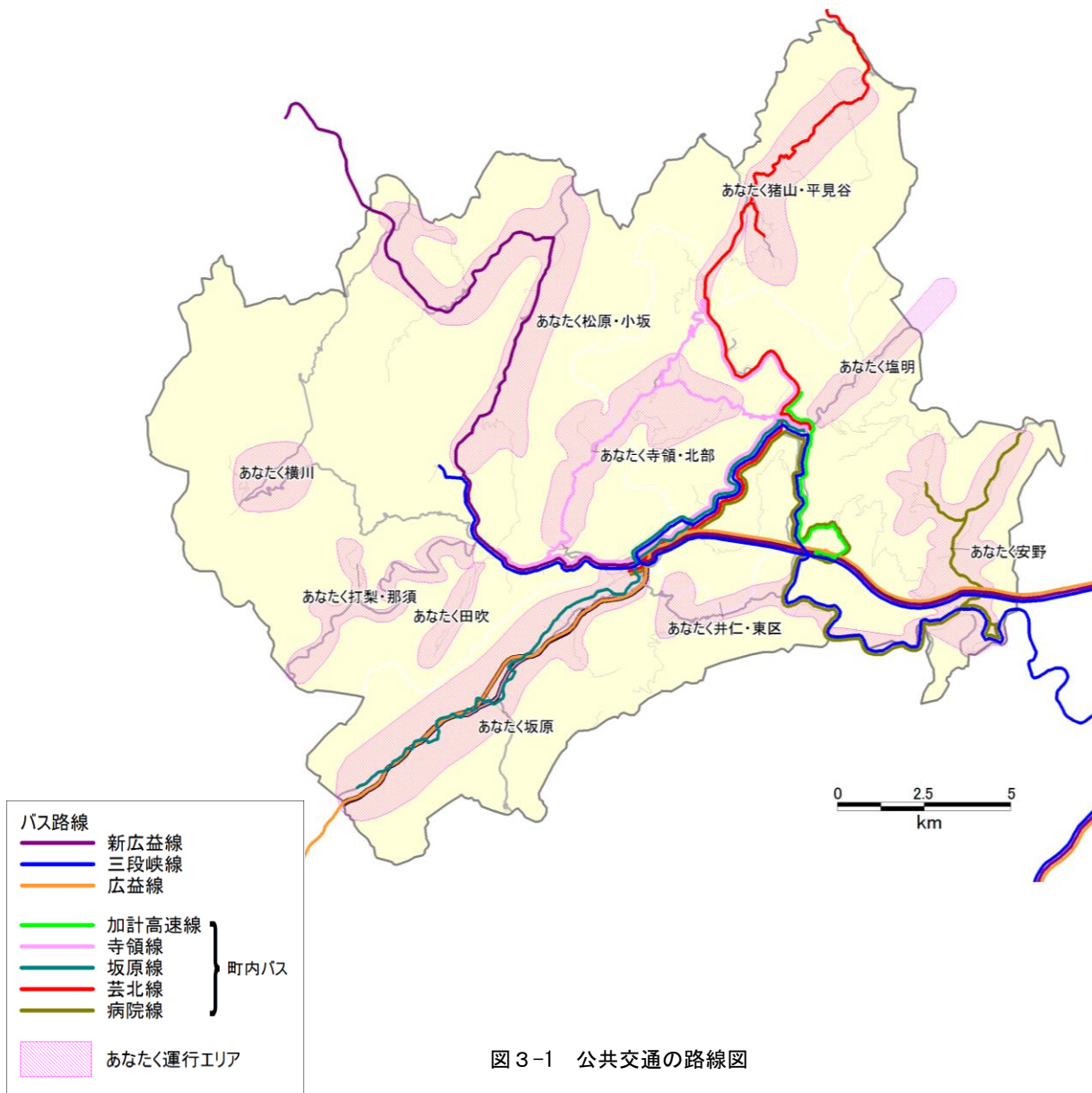


図 3-1 公共交通の路線図

- ・ 時間的アクセシビリティは平均値より低いものの、空間的アクセシビリティは高い水準を確保している。

アクセシビリティとは：

近づくやすさやアクセスのしやすさのことであり、
利用しやすさ、交通の便などの意



項目	指標	安芸太田町	全国平均	1万人未満平均
空間的アクセシビリティ指標	鉄道駅平均アクセス距離	-	1009m	1622m
	鉄道路線密度	-	0.19km/km ²	0.12km/km ²
	バス停平均アクセス距離	136m	195m	283m
	バス路線密度	6.58km/km ²	2.93km/km ²	1.32km/km ²
時間的アクセシビリティ指標	鉄道平均運行間隔	-	35分	171分
	鉄道平均運行本数	-	31本/日	6本/日
	バス平均運行間隔	348分	121分	183分
	バス平均運行本数	3本/日	9本/日	6本/日
総合アクセシビリティ指標	鉄道路線密度×平均運行本数	-	10.1km/km ²	2.9km/km ²
	バス路線密度×平均運行本数	20.7km/km ²	35.7km/km ²	13.9km/km ²

図3-2 アクセシビリティの水準

資料：地域公共交通の「サービスのアクセシビリティ指標」評価手法について／国土交通省

2-2. 公共交通の利用状況と行政負担

- ・ 路線バスの利用状況を見ると、町内移動と広島市への移動を担う三段峡線（在来線）は運行便数が多く、また乗車人員も多い。
- ・ あなたくに関しては、運行地域の人口規模によって利用者数は大きく異なっている状況である。運行委託費は、現在運行便数や運行距離による違いはなく、全路線とも同額である。
- ・ 路線バス、町内バス、あなたくに対する町の支出額は、合計で 144,313 千円になっている。特にあなたく田吹・打梨・那須・横川では、1 乗車当たりの行政負担が他の地区と比較して突出した金額（15,000 円超）となっており、経費削減の必要がある。

表 3-1 路線バスと町内バスの補助金と乗車人員（H27 年度）

区分	路線名	補助金額 (円/年・町支出のみ)	乗車人員 (人/年・町内利用者)
路線バス	三段峡線（在来線）	9,165,558	106,291
	三段峡線（高速便）	2,793,297	27,254
	三段峡線（可部線代替）	9,919,764	9,510
	新広益線	0	15,635
	広益線	0	2,887
	小計	21,878,619	161,577
町内バス	病院線	15,255,192	4,271
	加計高速線	15,621,449	3,368
	寺領線	5,273,679	2,767
	坂原線	16,970,682	5,849
	芸北線	8,720,000	5,074
	小計	61,841,002	21,329
計		83,719,621	182,906

※町内の利用者数は、キロ程に応じて総利用者数を按分して算出

表 3-2 あなたくの運行委託費と乗車人員（H27 年度）

区分	路線名	運行委託費（円/年）	乗車人員（人/年）
あなたく	塩明	各6,850,200円	2,029
	井仁・東区		1,782
	猪山・平見谷		1,765
	坂原		4,066
	寺領・北部		3,233
	松原・小板		2,705
	田吹・打梨・那須・横川		431
	安野		1,967
計		54,801,600	17,978

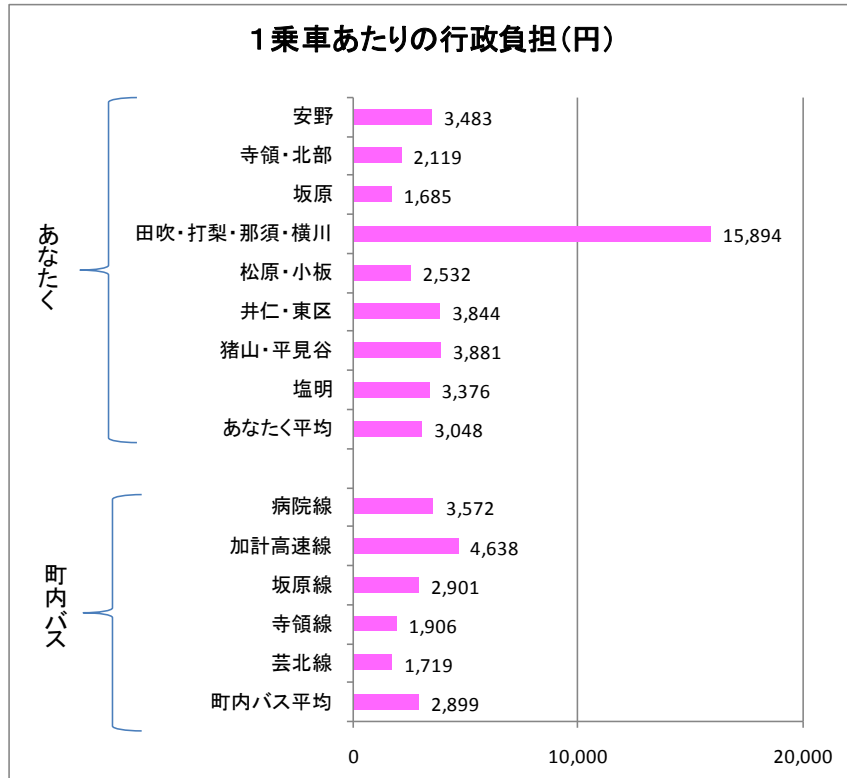


図3-3 1乗車あたりの行政負担

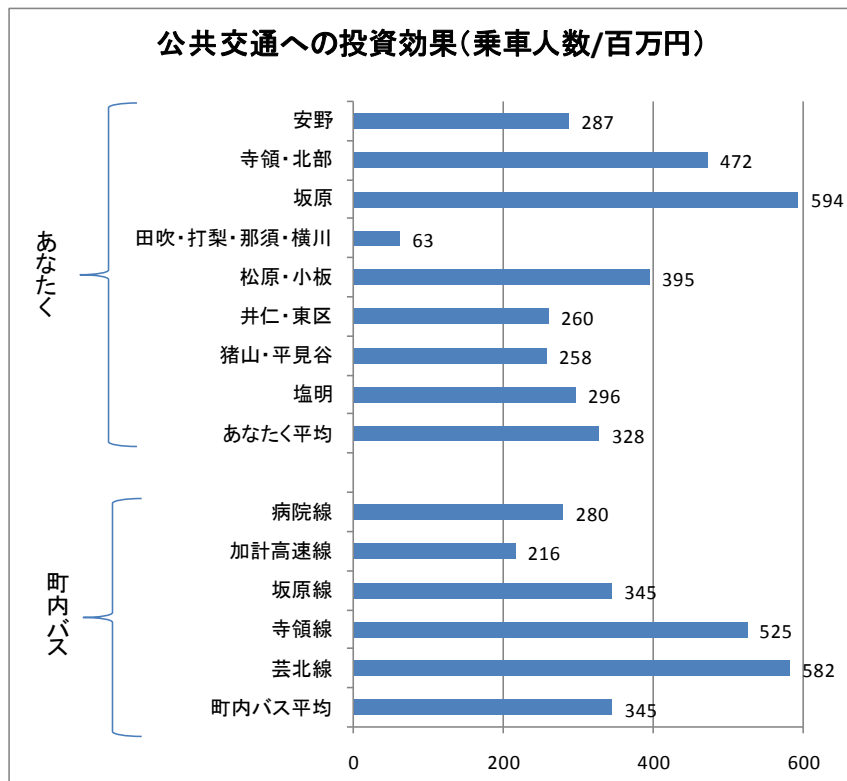


図3-4 公共交通への投資効果

2-3. 公共交通不便地域の状況

- ・ 町内の各支線部をデマンド型乗合タクシー「あなたく」が運行しているが、バス停からの距離が遠い集落が一部残されている。
- ・ ただし、あなたく運行区域外を対象に、安芸太田町高齢者生活支援移動活発化補助金（いわゆる、タクシー助成）制度を平成 25 年 7 月に創設し、高齢者に対する移動の支援を行っている。
- ・ 人口の 94.2%が、公共交通不便地域外（公共交通を利用しやすいエリア）に居住している。

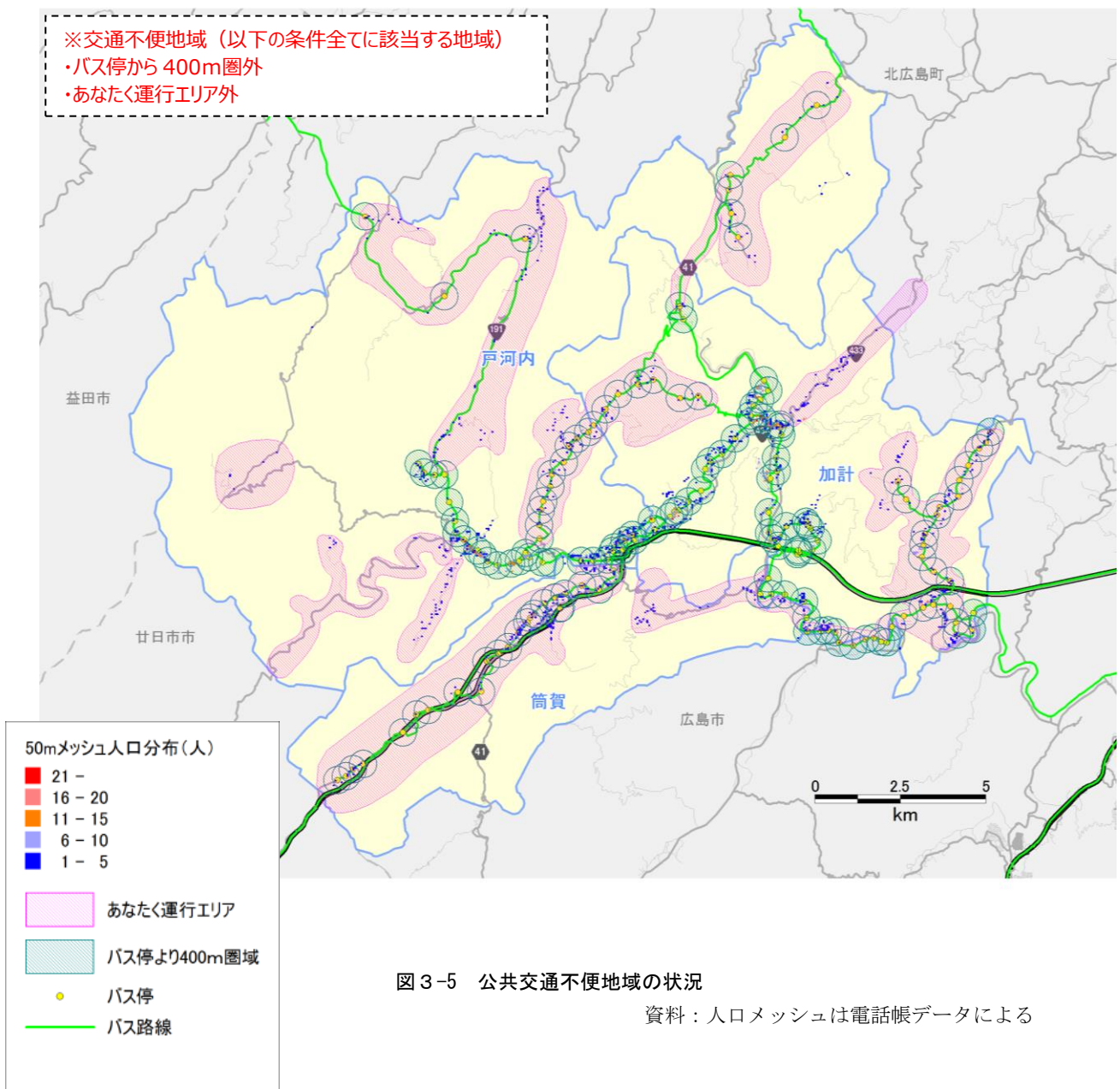


図 3-5 公共交通不便地域の状況

資料：人口メッシュは電話帳データによる

2-4. 路線バスの現状

① 運行状況

- ・ 広島電鉄(株)・石見交通(株)により、国道や中国自動車道といった幹線道路を経由する三段峡線及び新広益線・広益線を運行している。
- ・ 三段峡線（在来線）は国道を経由して広島市内の中心部まで運行しており、安芸太田町役場から広島バスセンターまでの所要時間は2時間超となっている。

表 3-3 路線バスの運行状況

運行業者	路線名	運行経路	平日運行便数 ※便=片道	運行時間
広島電鉄	三段峡線（高速便）	三段峡－加計BC－広島センター	8便	6：20～20:48
	三段峡線（在来線）	三段峡－広島センター	15便	5：37～22:29
	三段峡線（可部線代替）	三段峡－可部駅前	3便	11：05～20:37
石見交通	新広益線	益田駅前－広島新幹線口	4便	7：00～21:18
	広益線	益田医光寺－広島新幹線口	12便	5：48～20:57

※平成 28 年 9 月時点

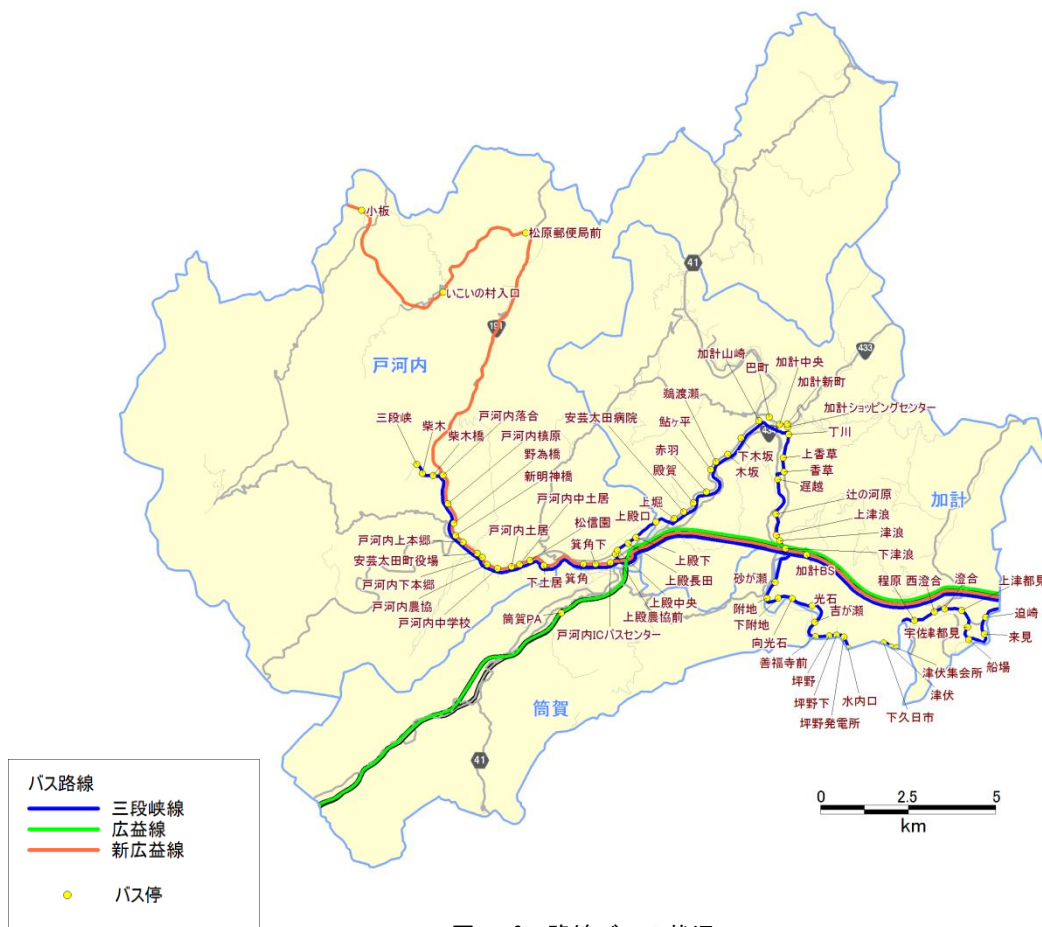


図 3-6 路線バスの状況

② 補助金、利用者数の推移

- ・ 三段峡線（在来線）の利用者は減少していたが、近年では増加に転じている。
- ・ 三段峡線（高速便、可部線代替）、新広益線の利用者数は年によって変動があるもののほぼ横ばいで推移しており、広益線は微増である。
- ・ 総利用者数は人口の減少率を上回るペースで減少していましたが、平成 23 年度以降は持ち直している。

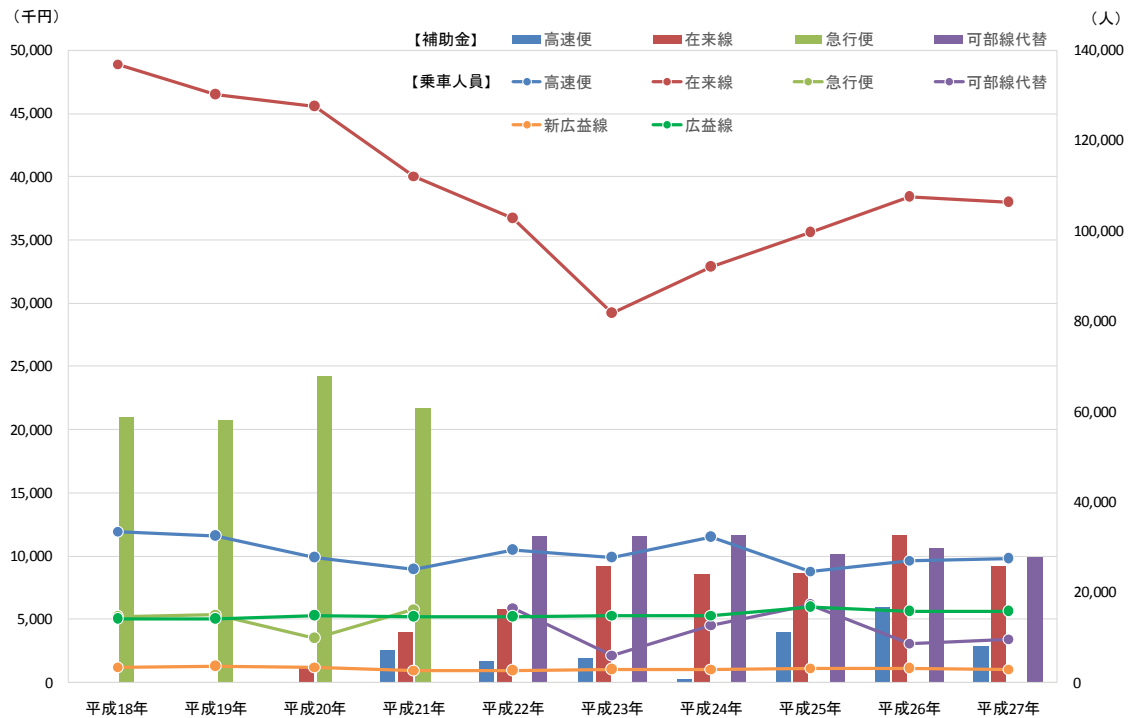


図 3-7 路線バスの補助金、利用者数

表 3-4 路線バスの補助金、利用者数

年度	補助金 (千円・町支出のみ)							利用者数 (人・町内利用者※)						
	三段峡線				新広益線	広益線	計	三段峡線				新広益線	広益線	計
	高速便	在来線	急行便	可部線代替				高速便	在来線	急行便	可部線代替			
平成18年	0	0	20,991		0	0	20,991	33,369	136,952	14,464		3,344	14,021	202,150
平成19年	0	0	20,751		0	0	20,751	32,289	130,119	15,028		3,439	13,905	194,780
平成20年	0	1,186	24,222		0	0	25,409	27,518	127,478	9,616		3,367	14,640	182,619
平成21年	2,520	3,917	21,681		0	0	28,119	25,013	112,152	16,207		2,663	14,483	170,518
平成22年	1,625	5,699		11,494	0	0	18,818	29,249	102,667		16,495	2,431	14,499	165,341
平成23年	1,879	9,109		11,506	0	0	22,493	27,567	81,737		5,944	2,805	14,823	132,876
平成24年	168	8,543		11,564	0	0	20,275	32,067	91,912		12,617	2,867	14,757	154,220
平成25年	3,909	8,588		10,074	0	0	22,570	24,553	99,682		17,085	3,139	16,597	161,056
平成26年	5,927	11,565		10,576	0	0	28,069	26,969	107,537		8,572	2,983	15,560	161,621
平成27年	2,793	9,166		9,920	0	0	21,879	27,254	106,291		9,510	2,887	15,635	161,577

※町内の利用者数は、キロ程に応じて総利用者数を按分して算出

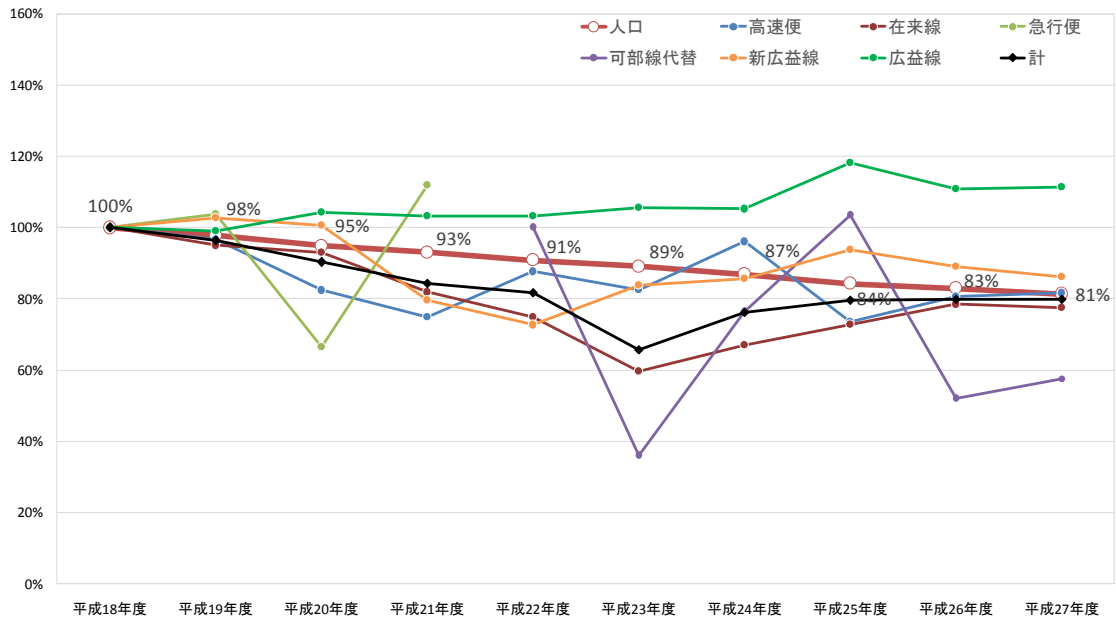


図3-8 利用者の伸び率（対平成18年度）

※可部線代替は平成22年度を100%として集計

資料：人口は住民基本台帳人口と外国人登録人口を合計した総人口（各年度の3月末時点）

③ PASPY 利用者数（三段峡線）

- ・ 町内から乗車する人は、広島バスセンターや町内で降車する人が多く、それ以外では、可部駅前で降車する人が多い状況である。

表 3-5 三段峡線の1日平均利用者数（上り）

三段峡線PASPY利用者数（人/日） 上り					三段峡線PASPY利用者数（人/日） 上り								
平日					平日								
降車 乗車	安芸太田町	広島市			計	降車 乗車	安芸太田町	広島市			計		
		～安佐営業所	～可部駅前	～広島バスセンター				～安佐営業所	～可部駅前	～広島バスセンター			
安芸太田町	52	10	29	63	154	安芸太田町	14%	3%	8%	17%	42%		
広島市	～安佐営業所	—	2	4	3	9	広島市	～安佐営業所	—	0%	1%	1%	2%
	～可部駅前	—	—	35	51	86	～可部駅前	—	—	9%	14%	23%	
	～広島バスセンター	—	—	—	121	121	～広島バスセンター	—	—	—	33%	33%	
計	52	11	67	238	370	計	14%	3%	18%	64%	100%		
土曜					土曜								
安芸太田町	22	7	17	42	87	安芸太田町	9%	3%	7%	17%	35%		
広島市	～安佐営業所	—	0	3	1	4	広島市	～安佐営業所	—	0%	1%	0%	1%
	～可部駅前	—	—	34	46	80	～可部駅前	—	—	14%	19%	32%	
	～広島バスセンター	—	—	—	77	121	～広島バスセンター	—	—	—	31%	31%	
計	22	7	53	166	247	計	9%	3%	22%	67%	100%		
日祝					日祝								
安芸太田町	18	4	12	44	78	安芸太田町	11%	2%	7%	26%	46%		
広島市	～安佐営業所	—	2	1	2	5	広島市	～安佐営業所	—	1%	1%	1%	3%
	～可部駅前	—	—	10	19	29	～可部駅前	—	—	6%	11%	17%	
	～広島バスセンター	—	—	—	59	59	～広島バスセンター	—	—	—	34%	34%	
計	18	6	23	124	171	計	11%	4%	13%	73%	100%		

表 3-6 三段峡線の1日平均利用者数（下り）

三段峡線PASPY利用者数（人/日） 下り					三段峡線PASPY利用者数（人/日） 下り						
平日					平日						
降車 乗車	安芸太田町	広島市			計	降車 乗車	安芸太田町	広島市			計
		～安佐営業所	～可部駅前	～広島バスセンター				～安佐営業所	～可部駅前	～広島バスセンター	
安芸太田町	44	—	—	—	44	安芸太田町	13%	—	—	—	13%
広島市	～安佐営業所	9	3	—	12	広島市	～安佐営業所	3%	1%	—	4%
	～可部駅前	30	13	33	75	～可部駅前	9%	4%	10%	—	22%
	～広島バスセンター	58	7	44	98	～広島バスセンター	17%	2%	13%	29%	61%
計	141	23	77	98	338	計	42%	7%	23%	29%	100%
土曜					土曜						
安芸太田町	16	—	—	—	16	安芸太田町	6%	—	—	—	6%
広島市	～安佐営業所	7	2	—	9	広島市	～安佐営業所	3%	1%	—	3%
	～可部駅前	19	7	20	46	～可部駅前	8%	3%	8%	—	18%
	～広島バスセンター	54	2	35	90	～広島バスセンター	21%	1%	14%	36%	72%
計	95	10	55	90	250	計	38%	4%	22%	36%	100%
日祝					日祝						
安芸太田町	11	—	—	—	11	安芸太田町	5%	—	—	—	5%
広島市	～安佐営業所	4	0	—	5	広島市	～安佐営業所	2%	0%	—	2%
	～可部駅前	12	4	14	30	～可部駅前	6%	2%	7%	—	15%
	～広島バスセンター	44	4	31	75	～広島バスセンター	22%	2%	15%	38%	77%
計	70	8	45	75	199	計	35%	4%	23%	38%	100%

資料：PASPY データ

※三段峡線（高速便、在来線、可部線代替の計）のPASPY 利用者を集計（期間 平成27年10月1日～31日）

④ 三段峡線（在来線）の遅延の状況

- ・ 町内では、上り（広島市方面行き）はほとんど遅れはないが、下り（安芸太田町方面行き）は広島市内の渋滞等の影響により、遅れが生じてる。

◆平成 27 年 2 月 9 日 09 時 15 分（上り）

◆平成 27 年 2 月 9 日 10 時 36 分（上り）

◆平成 27 年 2 月 9 日 16 時 14 分（上り）

図 3-9 三段峡線（在来線）の遅れ状況(上り)

◆平成 27 年 2 月 9 日 09 時 15 分（下り）

◆平成 27 年 2 月 9 日 10 時 34 分（下り）

◆平成 27 年 2 月 9 日 16 時 16 分（下り）

図 3-10 三段峡線（在来線）の遅れ状況(下り)

2-5. 町内バスの現状

① 運行状況

- ・ 町内バスは、加計交通(株)、(有)総合企画C、三段峡交通(株)により5路線運行している。
- ・ 路線によって運行サービス（運行本数：1～7便）が異なっている。

表 3-7 町内バスの運行状況

運行業者	路線名	運行経路	平日運行便数 ※便=片道	運行時間
加計交通	病院線（船場経由）	昌原－船場－戸河内IC	2便	7：15～12:48
	病院線	戸河内IC－昌原	1便	17:45～18:46
	加計高速線	川・森・文化・交流センター－加計高速	7便	6：43～19:31
総合企画	芸北線	芸北支所－戸河内IC	6便	8：32～17:48
三段峡交通	寺領線	安芸太田町役場－寺領－加計ショッピング	2便	7：36～16:49
		安芸太田町役場－安芸太田病院－加計ショッピング	2便	8：10～16:15
	坂原線（上殿経由）	坂原上の橋－加計ショッピング	3便	8：11～17:07
	坂原線（バイパス経由）	坂原上の橋－加計ショッピング	2便	7：33～18:26

※平成28年9月時点



② 補助金、利用者数の推移

- ・ 各路線とも利用者は減少傾向を示しており、総利用者数は人口の減少率と比較しても減少の度合いが高い状況である。
- ・ 利用者は減少しており、補助金額は増加から横ばいの状況である。
- ・ 平成19年の坂原線利用の大幅に減少している。これはあなたく坂原線が運行開始されたためである。
- ・ 平成23年の加計高速線利用の大幅な増加となっているが、平成22年の年度途中から運行開始しており、運行日が少ないためである。

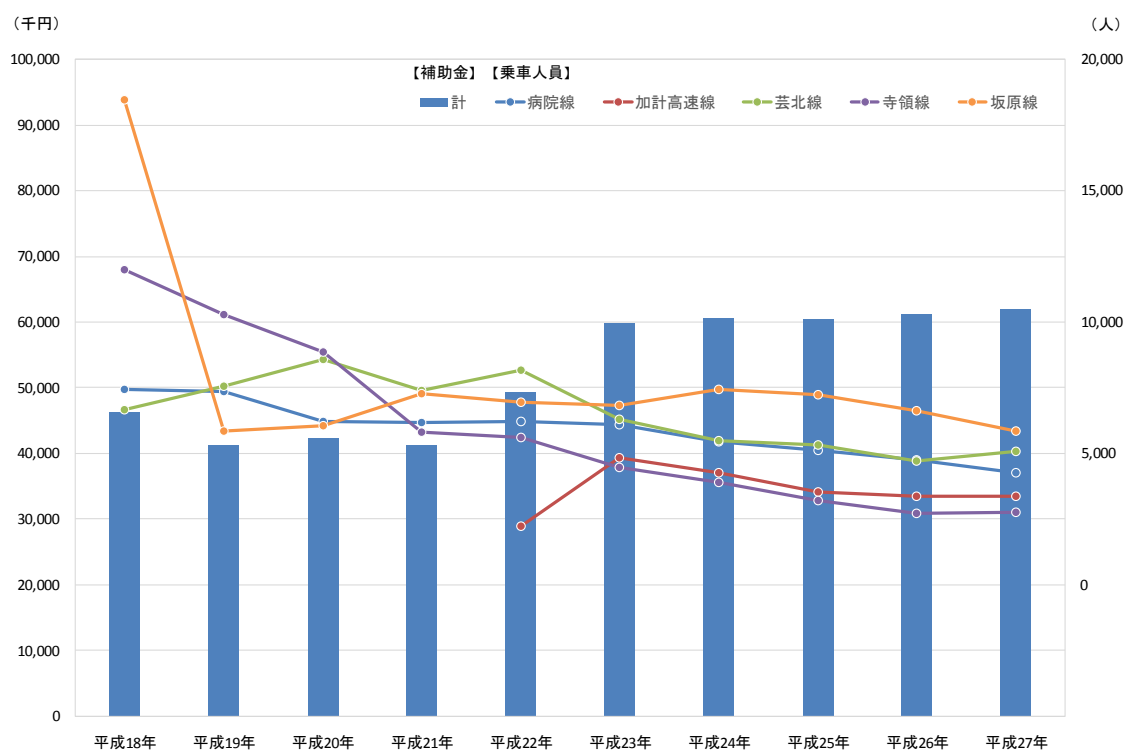


図3-12 町内バスの補助金、利用者数

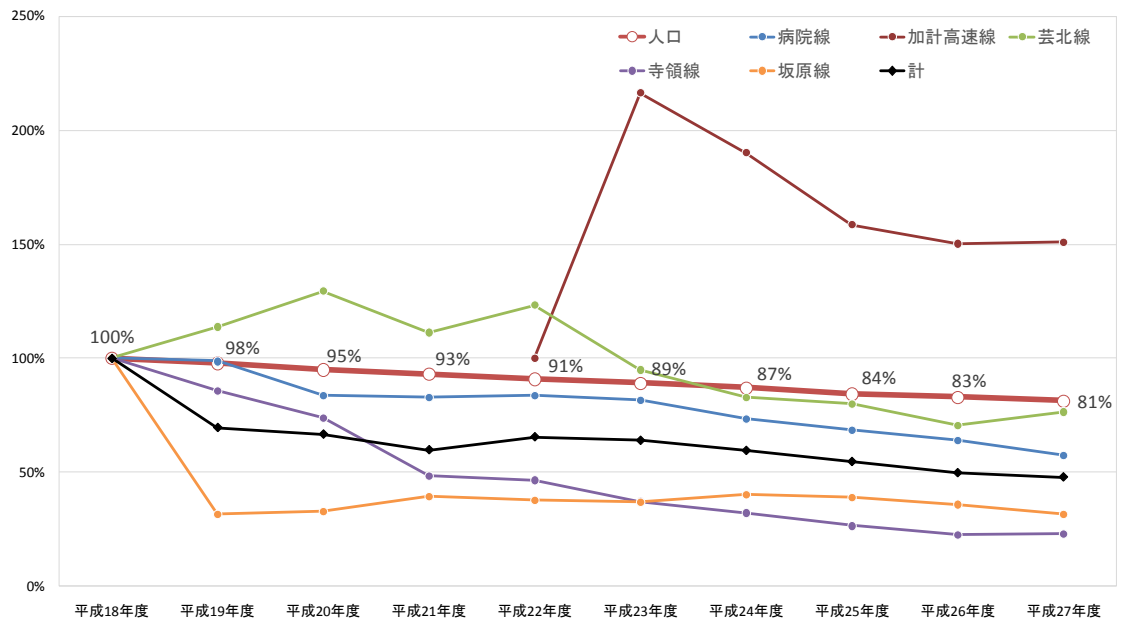


図3-13 利用者の伸び率（対平成18年度）

※加計高速線は平成22年度を100%として集計

資料：人口は住民基本台帳人口と外国人登録人口を合計した総人口（各年度の3月末時点）

③ 利用状況

- ・ 病院線、加計高速線、芸北線、寺領線、坂原線は高校生が加計高等学校への通学に利用している。また、寺領線では中学生も利用している。
- ・ 通学以外では、通勤や高齢者の買物、通院等で利用している。

表 3-8 町内バスの利用状況

路線名	発バス停	着バス停	便数 (平日)	利用者 数 (人)	1便あたり 平均利用 者数	利用者の属性			
						中学生	高校生	一般	高齢者
病院線	昌原	戸河内ICバスセンター	1	7	7.0	0%	57%	14%	29%
病院線 (船場経由)	戸河内ICバスセンター	昌原	1	2	2.0	0%	0%	0%	100%
病院線	戸河内ICバスセンター	昌原	1	1	1.0	0%	0%	100%	0%
加計高速線	加計高速	川・森・文化・交流センター	4	8	2.0	0%	13%	0%	88%
加計高速線	川・森・文化・交流センター	加計高速	3	2	1.5	0%	0%	50%	50%
芸北線	戸河内ICバスセンター	上荒神原	2	11	5.5	0%	0%	27%	73%
芸北線	戸河内ICバスセンター	芸北支所	1	1	1.0	0%	100%	0%	0%
芸北線	上荒神原	戸河内ICバスセンター	3	9	3.0	0%	0%	67%	33%
寺領線	安芸太田町役場	加計ショッピングセンター	1	8	8.0	38%	25%	38%	0%
寺領線 (安芸太田病院経由)	安芸太田町役場	加計ショッピングセンター	1	1	1.0	0%	0%	100%	0%
寺領線	加計ショッピングセンター	安芸太田町役場	1	1	1.0	0%	0%	100%	0%
寺領線 (安芸太田病院経由)	加計ショッピングセンター	安芸太田町役場	1	0	0.0	0%	0%	0%	0%
坂原線 (バイパス経由)	坂原上の橋	加計ショッピングセンター	1	5	5.0	0%	40%	40%	20%
坂原線 (上殿経由)	坂原上の橋	加計ショッピングセンター	1	2	2.0	0%	0%	100%	0%
坂原線 (交流センター経由)	加計ショッピングセンター	坂原上の橋	1	2	2.0	0%	0%	0%	100%
坂原線 (上殿経由)	加計ショッピングセンター	坂原上の橋	1	3	3.0	0%	33%	33%	33%
坂原線 (バイパス経由)	加計ショッピングセンター	坂原上の橋	1	4	4.0	0%	75%	25%	0%

資料：乗降調査結果（平成27年11月27日（金）実施）

2-6. あなたくの現状

① 運行状況

- ・ あなたくは、予約（30分前まで電話予約が可能）に応じてドア・トゥ・ドアで運行する乗合型デマンドタクシーである。
- ・ あなたく田吹・打梨・那須・横川線以外は、日・祝日・年末年始を除く月～土に運行しており、ダイヤが決められている。
- ・ 便数、運行時間、運行エリア、運賃の設定（地域内 200 円、地域外 500 円・700 円）に地域差があり、統一化されたルールに基づいた運行が出来ていない状況である。

表 3-9 あなたくの運行状況

路線名	行き先（方面）	平日運行便数 ※便=片道	運行時間	運行日
あなたく塩明	安芸太田病院方面	5便	7:50~17:20	月~土
	鷓木方面	5便	8:50~18:40	
あなたく井仁・東区	安芸太田病院方面	4便	7:40~17:50	月~土
	東区方面	4便	11:30~18:40	
あなたく猪山・平見谷	安芸太田病院方面	3便	7:20~11:00	月~土
	平見谷方面	2便	12:30~18:50	
あなたく坂原	安芸太田病院方面	4便	9:30~15:10	月~土
	坂原方面	4便	8:30~14:40	
あなたく寺領・北部	安芸太田病院方面	4便	10:10~18:15	月~土
	役場方面	7便	7:40~19:00	
あなたく松原・小坂	安芸太田病院方面	4便	8:35~17:00	月~土
	小坂方面	6便	7:25~18:30	
あなたく田吹	安芸太田病院方面	4便	7:30~15:40	月・水・木・土
	上田吹方面	3便	10:50~18:20	
あなたく打梨・那須	安芸太田病院方面	3便	9:00~17:45	
	打梨那須方面	3便	8:30~17:10	
あなたく横川	横川発	2便	10:15、13:55	
	役場発	1便	13:20	
あなたく安野	澄合方面	4便	7:45~15:25	
	昌原方面	6便	10:20~18:15	

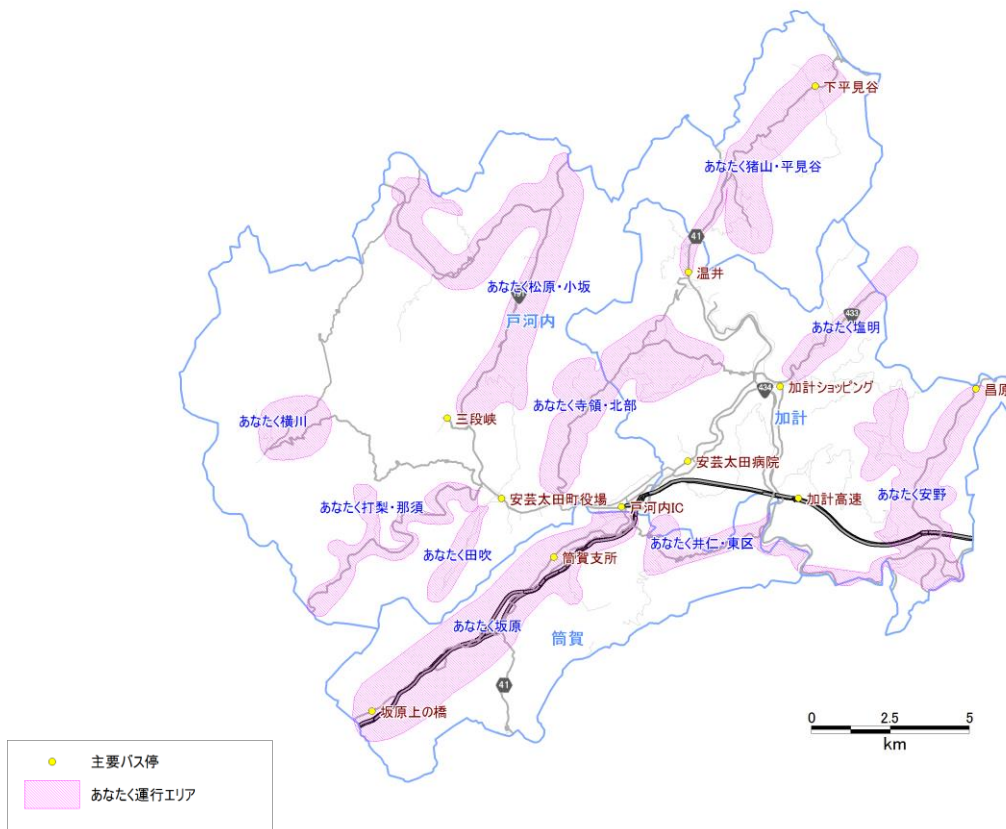


図 3-14 あなたくの運行状況

平成 28 年 9 月時点

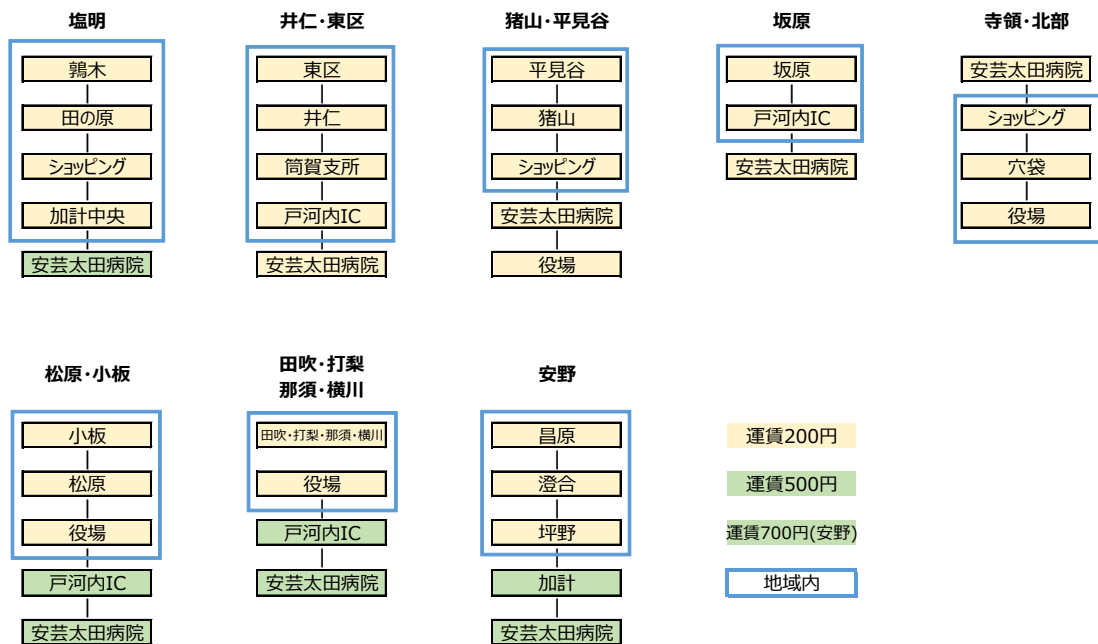


図 3-15 あなたくの運行エリアと運賃

② 便別の稼働状況

- ・ 全く稼働していない（便稼働率 0%）便がある。
- ・ 始発便と最終便の稼働率が低い地区が複数ある。
- ・ あなたく「安野」及び「那須・打梨、田吹・横川」の便稼働率（合計）は 30%を下回っている。

あなたく 塩明	上り											
		7:50	9:20	12:00	14:40	16:50						
	運行便数	26	26	26	26	26						
	稼働便数	2	26	9	7	0						
	便稼働率	8%	100%	35%	27%	0%						
	下り						合計					
		8:50	11:20	14:10	16:20	18:10						
	運行便数	26	26	26	26	26	260					
	稼働便数	0	20	12	6	2	84					
	便稼働率	0%	77%	46%	23%	8%	32%					
あなたく 井仁・ 東区	上り				下り				合計			
		7:40	9:30	14:30	16:30	11:30	13:30	15:30	17:50			
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	208		
	稼働便数	16	19	8	0	21	2	13	0	79		
	便稼働率	62%	73%	31%	0%	81%	8%	50%	0%	38%		
あなたく 猪山・ 平見谷	上り			下り		合計						
		7:20	8:00	10:00	12:30	18:20						
	運行便数	26	26	26	26	26	130					
	稼働便数	0	23	16	20	0	59					
	便稼働率	0%	88%	62%	77%	0%	45%					
あなたく 坂原	8:30		9:30		10:10		11:00					
	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀				
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	26		
	稼働便数	5	2	21	21	19	16	10	18			
	便稼働率	19%	8%	81%	81%	73%	62%	38%	69%			
	11:50		13:30		14:10		14:40		合計			
	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀	中筒賀	上筒賀				
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	416		
	稼働便数	22	24	2	8	7	10	0	4	189		
	便稼働率	85%	92%	8%	31%	27%	38%	0%	15%	45%		

あなたく 寺領・ 北部	7:40		9:00		10:10		11:10		
	戸河内	加計北	戸河内	加計北	戸河内	加計北	戸河内	加計北	
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	
	稼働便数	0	0	18	1	22	12	5	12
	便稼働率	0%	0%	69%	4%	85%	46%	19%	46%
	12:10		13:10		14:10		15:10		
	戸河内	加計北	戸河内	加計北	戸河内	加計北	戸河内	加計北	
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	
	稼働便数	14	5	21	18	2	7	3	6
	便稼働率	54%	19%	81%	69%	8%	27%	12%	23%
	16:50		17:40		18:20		合計		
	戸河内	加計北	戸河内	加計北	戸河内	加計北			
	運行便数	26	26	26	26	26	26	572	
稼働便数	0	0	0	0	1	25	172		
便稼働率	0%	0%	0%	0%	4%	96%	30%		

あなたく 松原・ 小板	7:25		7:55		8:35		11:50		12:40		
	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	
	稼働便数	4	0	24	21	3					
	便稼働率	15%	0%	92%	81%	12%					
	13:30		14:10		15:40		16:20		17:50		合計
	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板	松原・小板		
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	260	
	稼働便数	5	1	23	1	21				103	
	便稼働率	19%	4%	88%	4%	81%				40%	

あなたく 田吹	7:30		8:00		10:50		11:20		14:30		15:20		17:50		合計
	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹	田吹		
	運行便数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	182	
	稼働便数	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
	便稼働率	0%	12%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	

あなたく 打梨・ 那須	9:00		11:50		12:20		
	打梨	那須	打梨	那須	打梨	那須	
	運行便数	26	26	26	26	26	26
	稼働便数	6	3	0	5	2	2
	便稼働率	23%	12%	0%	19%	8%	8%
	16:30		17:10		合計		
	打梨	那須	打梨	那須			
	運行便数	26	26	26	26	260	
	稼働便数	1	1	0	2	22	
	便稼働率	4%	4%	0%	8%	8%	

あなたく 横川		10:15	13:20	13:55	合計	
		横川	役場	横川		
	運行便数	12	12	12	36	
	稼働便数	7	7	0	14	
便稼働率	58%	58%	0%	39%		

あなたく 安野	上り						
	8:05	9:30	11:10	13:00	15:00		
	運行便数	26	26	26	26	26	
	稼働便数	13	10	1	1	1	
	便稼働率	50%	38%	4%	4%	4%	
	下り						合計
	10:20	12:00	13:50	14:20	16:55	17:55	
運行便数	26	26	26	26	26	286	
稼働便数	11	4	0	9	12	63	
便稼働率	42%	15%	0%	35%	46%	4%	22%

資料：平成 27 年 10 月の運行実績により集計

③ 運行委託費、利用者数の推移

- ・ 利用状況は地域差があるが全体として減少傾向にある。特に「田吹・打梨・那須・横川」の利用者は非常に少ない上、年々減少している。
- ・ 運行日、便数に関わらず、各路線の運行委託費は同額である。
- ・ 総利用者数は人口の減少率と比較しても減少の割合が高くなっている。

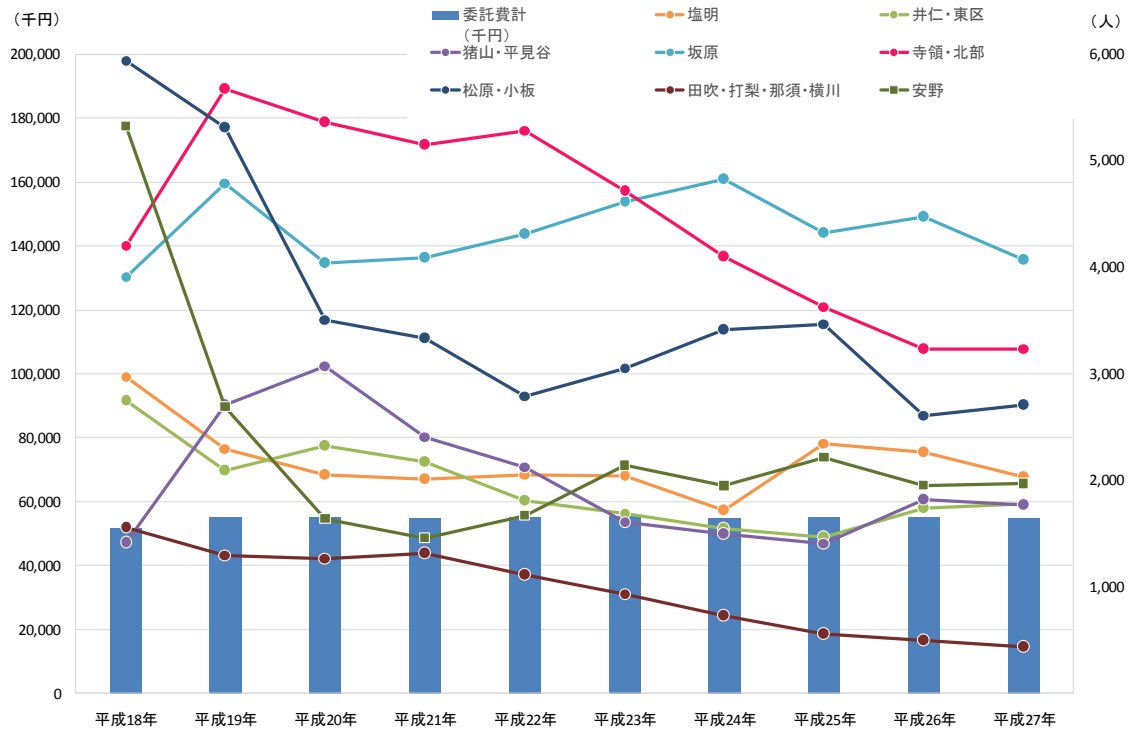


図 3-16 あなたくの運行委託費、利用者数

表 3-10 あなたくの運行委託費、利用者数

年度	委託費計 (千円)	乗車人数 (人)								
		塩明	井仁・東区	猪山・平見谷	坂原	寺領・北部	松原・小坂	田吹・打梨 那須・横川	安野	計
平成18年	51,819	2,973	2,744	1,410	3,912	4,203	5,941	1,553	5,324	28,060
平成19年	54,988	2,297	2,088	2,707	4,789	5,675	5,308	1,296	2,686	26,846
平成20年	54,988	2,046	2,322	3,074	4,040	5,362	3,507	1,267	1,635	23,253
平成21年	54,871	2,011	2,167	2,408	4,088	5,144	3,329	1,314	1,459	21,920
平成22年	54,988	2,052	1,808	2,124	4,312	5,285	2,789	1,107	1,665	21,142
平成23年	55,360	2,035	1,690	1,610	4,610	4,715	3,053	933	2,137	20,783
平成24年	54,806	1,718	1,543	1,491	4,821	4,100	3,409	726	1,945	19,753
平成25年	54,918	2,347	1,465	1,408	4,317	3,628	3,466	556	2,210	19,397
平成26年	54,988	2,260	1,738	1,818	4,471	3,230	2,608	497	1,951	18,573
平成27年	54,802	2,029	1,782	1,765	4,066	3,233	2,705	431	1,967	17,978

※あなたく 1 エリアの委託費は 6,896 千円 (平成 27 年度)

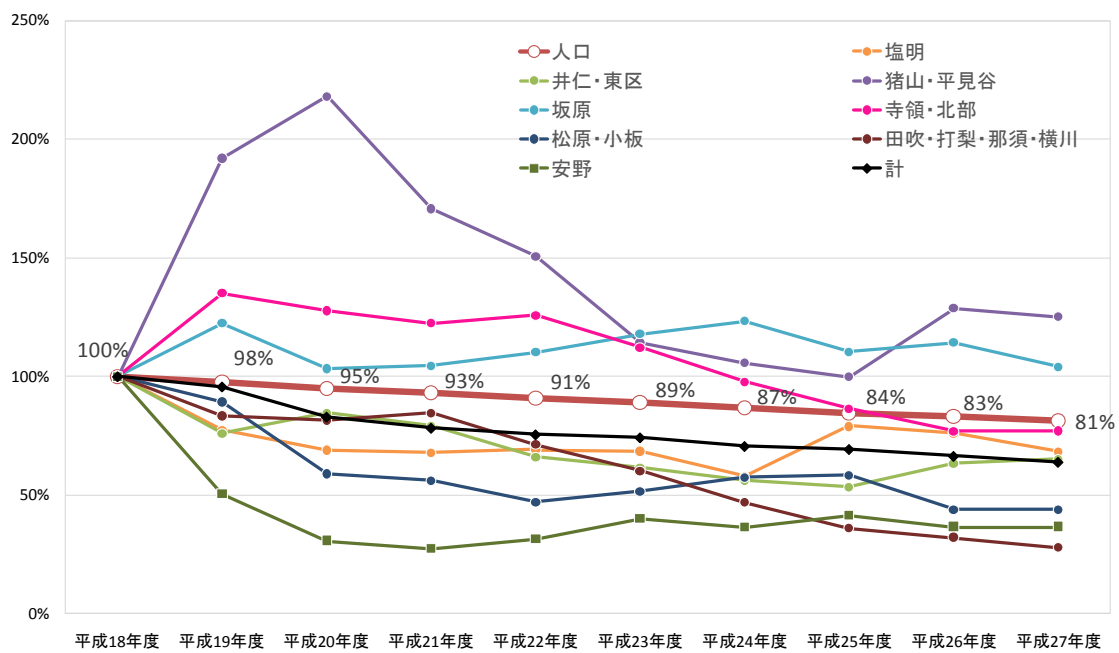


図3-17 利用者の伸び率（対平成18年度）

資料：人口は住民基本台帳人口と外国人登録人口を合計した総人口（各年度の3月末時点）

2-7. 交通結節点の現状

加計BS下り、澄合バス停は屋根とベンチが整備されているものの、入口の扉がないため風や寒さをしのぐことができない状況である。特に降雪時に快適に待てる環境を整備する必要がある。



図3-18 戸河内 IC



図3-19 安芸太田病院バス停



図3-20 加計中央



図3-21 加計ショッピング



図3-22 安芸太田町役場前



図3-23 筒賀支所前



図 3-24 筒賀 PA



図 3-25 加計 BS (下り)



図 3-26 澄合

2-8. 福祉輸送・ボランティア輸送サービスの現状

本町における福祉輸送・ボランティア輸送サービスは、以下3つのである。

名 称	安芸太田町移送支援事業		
利用対象者	<p>本町に在住し会員登録したもので、日常何らかの身体介護を要し、移動が困難な次の各号のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○寝たきりまたは認知症状のため、公共交通機関等の利用が困難な者 ○身体障害、精神障害等のため、公共交通機関等の利用が困難な者 		
登録者数	14名	運送車両	車いす専用軽自動車：3台
運行実績	【H27】実人数：235人 輸送回数 1,389回 運行距離 10,394km		
実施主体	安芸太田町 受託者：安芸太田町社会福祉協議会		
事業費	委託料：4,992千円		
概 要	<p>身体機能の低下により、公共交通機関等の利用が困難な高齢者及び重度身体障害者等に対し、車椅子専用車両による移送支援サービスを行うことにより、利用者の社会参加の促進と、より豊かな在宅生活と福祉の向上を図る。</p> <p>旧加計町の「お出かけ支援事業」、旧筒賀村の「生活援助サービス」を引き継ぐ形で平成17年8月から安芸太田町全体で実施している。</p>		

名 称	田吹地域高齢者等生活支援（移動支援）事業		
利用対象者	<p>次の各号に該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田吹地域にお住まいの方（必須） ○けがや病気等であなたくへの乗降が困難な方及びその付添の方 ○けがや病気等で車の運転が困難な方及びその付添の方 		
登録者数	20名	運送車両	車いす専用軽自動車：1台
運行実績	【H27】乗車人数：1,125人 運行距離 11,999km		
実施主体	田吹高齢者等生活支援協議会		
事業費	車検費用：約100千円 ガソリン代は実費徴収		
概 要	<p>高齢化率が55%を超える田吹自治会において、要援護者等の移動困難者を対象とした通院・買い物支援を中心とした地域生活支援体制の構築を図るもの。</p> <p>また、安心・安全な暮らしを提供することで、田吹自治会員相互の親睦を深めようとするもの。</p> <p>登録ボランティア運転者7名 利用料金は実費（ガソリン代）のみ。</p>		

名 称	上殿地域高齢者等生活支援サービス事業		
利用対象者	次の各号に該当する方 ○上殿地域にお住まいの方（必須） ○一人暮らしや高齢者世帯で、買い物や通院が不自由な方（どなたでも） ○発地若しくは着地が上殿地区であること		
登録者数	15 名	運送車両	軽自動車：1 台
運行実績	【H27】乗車人数： 1,126 人 運行距離 9,824 km		
実施主体	NPO 法人 上殿未来会議		
事業費	車検費用：約 100 千円 ガソリン代は実費徴収		
概 要	上殿地域において、独居高齢者や高齢者世帯において、買い物や通院等が不自由な方を対象に、ボランティア送迎サービスを実施し、誰もが暮らしやすい上殿地域を目指すもの。 利用者は、事前登録する必要がある。 登録ボランティア運転者 3 名 利用料金は実費（ガソリン代）のみ。		

また、本町では、次の移動支援制度により、高齢者の外出支援を行っている。

名 称	安芸太田町高齢者生活支援移動活発化補助金（いわゆるタクシー助成）		
利用対象者	次の各号に該当する者 ○65 歳以上の高齢者かつ運転免許証非保有者 ○居住地がバス停からの距離が 400m 以上離れている ○あなたく運行区域外		
登録者数	57 人		
実施主体	安芸太田町		
事業費	補助金：521 千円		
利用実績	【H25】利用枚数 397 枚	平均利用回数 0.6 回/月	利用率 25.6%
	【H26】利用枚数 855 枚	平均利用回数 1.3 回/月	利用率 40.6%
	【H27】利用枚数 1,042 枚	平均利用回数 1.7 回/月	利用率 42.3%
概 要	あなたくの運行区域外における町内在住の高齢者が外出する際に利用するタクシー運賃の一部を助成することにより、高齢者の外出支援及び社会参加を促進し、もって福祉の増進を図ろうとするもの。 （高齢者の外出活発化支援・高齢者の交通不便解消） 【補助内容】 500 円のタクシー助成券を年間 48 枚交付（月 4 回（2 往復）の計算） タクシー利用の際に運行事業者に提出し、タクシー運賃から 500 円差し引くもの。町は、運行事業者に対し補助金を交付する。		

2-9. タクシーの現状

- ・ タクシー事業者は町内に3社(1営業所)あり、どの地域でもタクシーが利用できる状況である。



図3-27 タクシー事業所

※平成28年1月時点

2-10. スクールバスの現状

- ・ 現在、こども園・保育所・小学校・中学校含め、スクールバス 10 本を運行している。
- ・ スクールバスの運行は、学校統廃合時における地域・保護者との合意事項であるため必要な運行ではあるが、三段峡線及び各町内バスやあなたく運行時間が重複しているケースもあり、将来的には三段峡線、町内バス及びあなたくとの連携や、町民がスクールバスに乗車する「混乗」を検討、実施する必要がある。

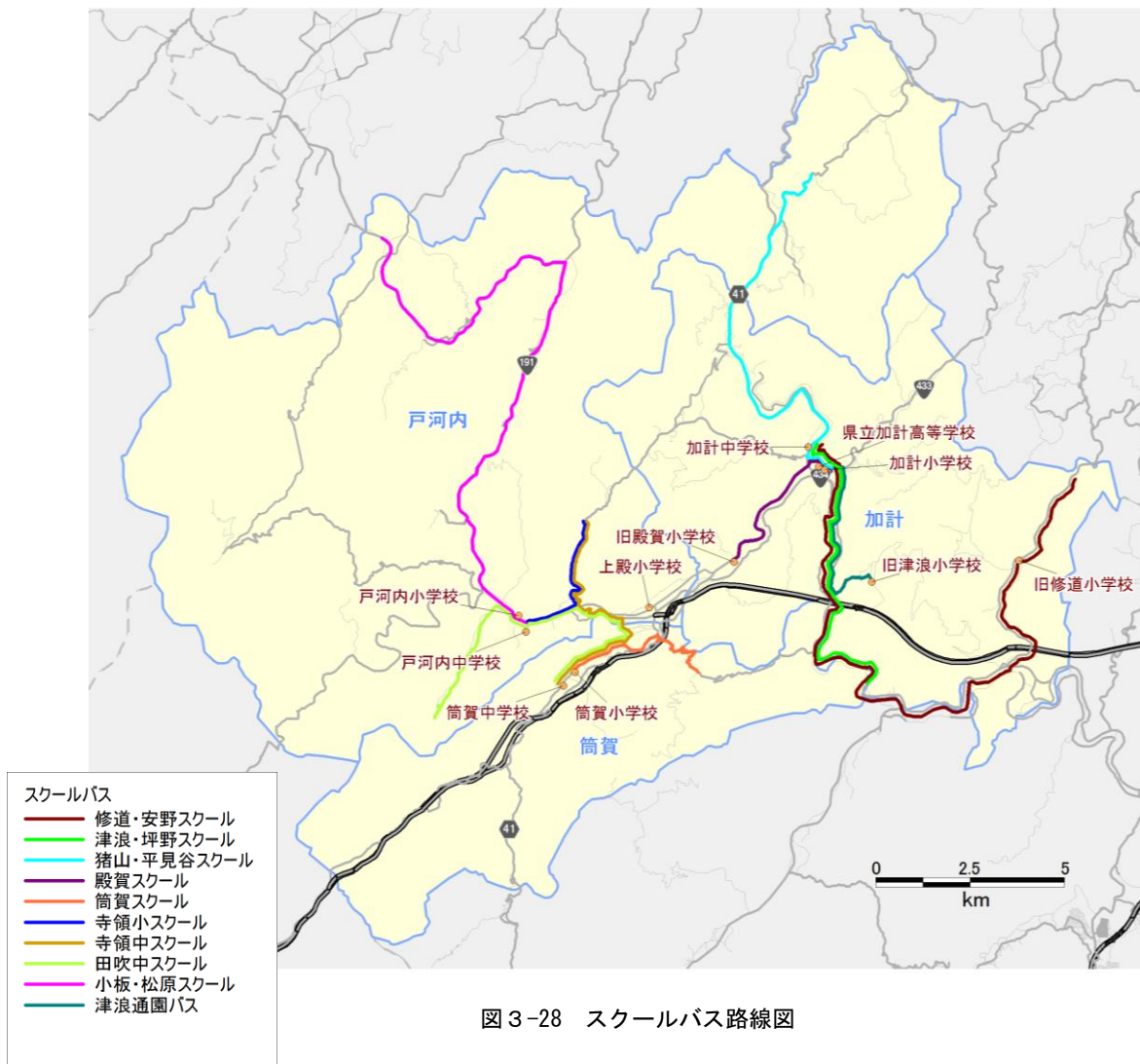


図 3-28 スクールバス路線図

3. 公共交通に関する住民アンケート調査

3-1. アンケート調査の概要

公共交通に関する住民意向、利用実態、移動ニーズ等を把握するために、住民アンケート調査を実施しました。

調査対象	安芸太田町の全世帯 3,248 世帯
調査期間	平成 27 年 12 月 7 日～平成 27 年 12 月 31 日（投函締切）
調査方法	自治会発送による全戸配付（回収は返信用封筒による）
回収状況	557 部（回収率 17.1%）

3-2. 調査結果

① 公共交通の利用状況

- 路線バスや高速バスを月に 1 回以上利用する人は 3 割程度
- 全く利用しない人は 42.4%

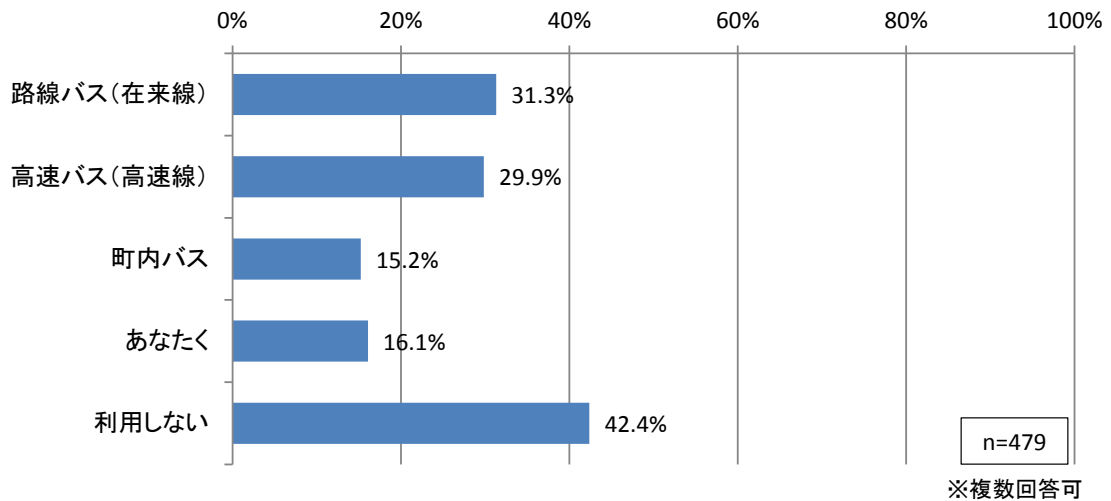


図 3-29 普段利用する公共交通（月 1 回以上）

② 買物の状況

- 加計ショッピングセンターで買物する人が多く、食料品等の日用品の買物は、週2回以下の頻度が多い。(週に1回未満の方も多い。)
- 自動車を自ら運転する人の割合が高いが、家族の送迎やあなたくを利用する人もいる。

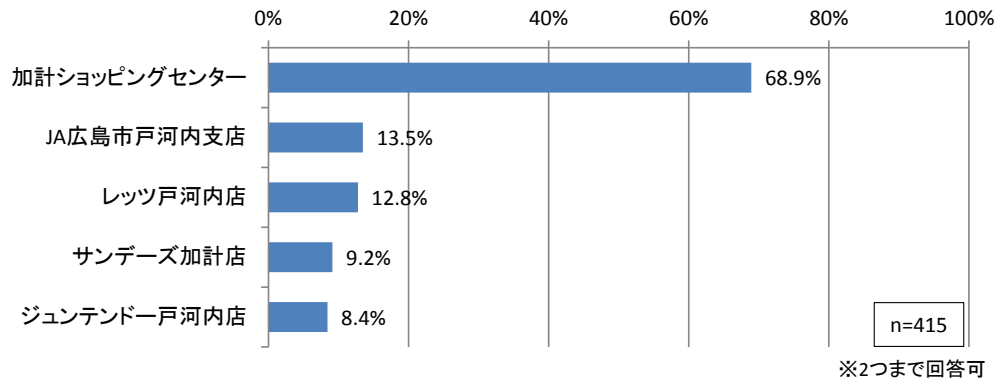


図3-30 主な買物先

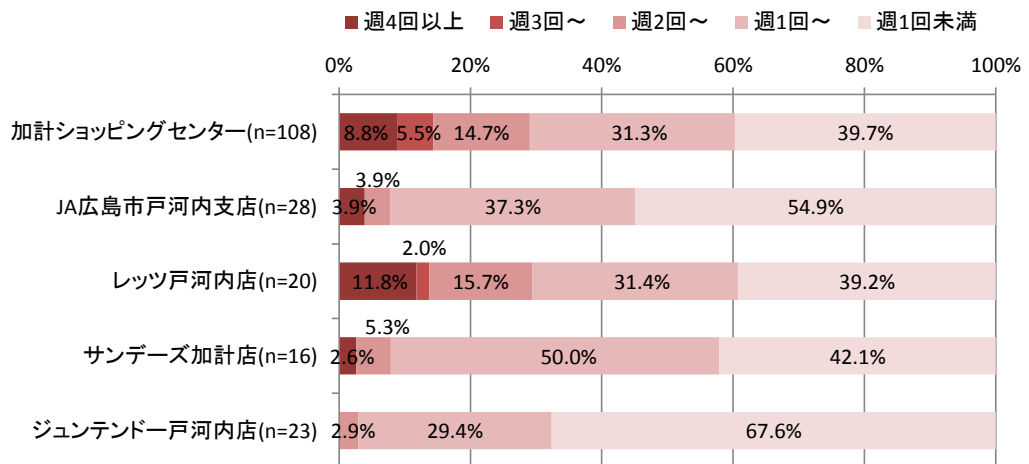


図3-31 買物頻度

	加計ショッピングセンター(n=237)	JA広島市戸河内支店(n=44)	レッツ戸河内店(n=44)	サンデーズ加計店(n=34)	ジュンテンドー戸河内店(n=31)
自動車(自分で運転)	61.2%	38.6%	45.5%	73.5%	54.8%
自動車(家族等の送迎)	18.1%	15.9%	15.9%	23.5%	25.8%
自動二輪・原付	1.7%	4.5%	2.3%	2.9%	0.0%
シニアカー	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	3.2%
タクシー	2.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%
路線バス	8.4%	9.1%	6.8%	2.9%	3.2%
町内バス	4.2%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
あなたく	5.5%	22.7%	4.5%	8.8%	12.9%
ボランティア輸送	0.4%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%
自転車	1.7%	4.5%	4.5%	0.0%	6.5%
徒歩	12.2%	11.4%	27.3%	8.8%	6.5%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図3-32 買物の交通手段

③ 通院の状況

- 安芸太田病院に通院する人が多く、月1回通院する人の割合が高い。
- 広島市内の病院に通院する人は31.3%で、通院頻度は月1回の割合が74.7%を占めている。
- 自動車を自ら運転する人の割合が高いが、家族による送迎や路線バス、あなたく等の公共交通を利用する人もいる。

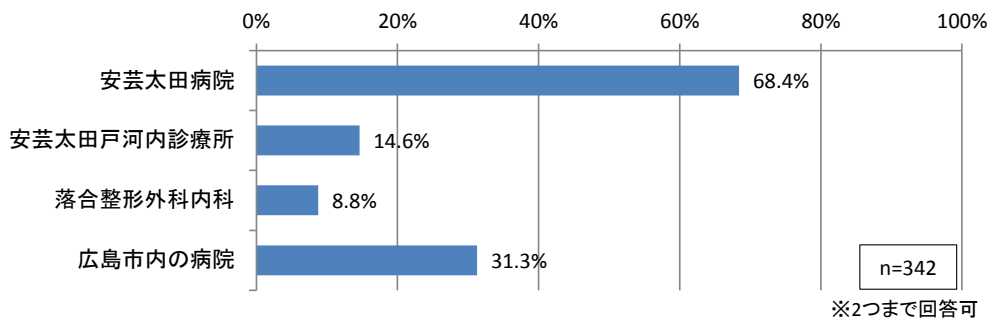


図3-33 主な通院先

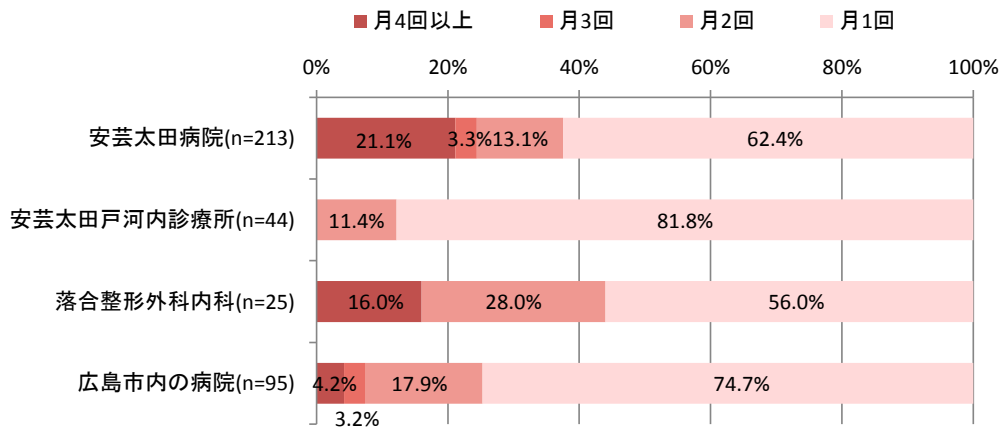


図3-34 通院頻度

	安芸太田病院 (n=191)	安芸太田戸河内診療所 (n=37)	落合整形外科内科 (n=22)	広島市内の病院 (n=87)
自動車（自分で運転）	50.8%	35.1%	45.5%	67.8%
自動車（家族等の送迎）	22.0%	10.8%	18.2%	20.7%
自動二輪・原付	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%
シニアカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
タクシー	5.8%	2.7%	0.0%	0.0%
路線バス	16.2%	21.6%	13.6%	23.0%
町内バス	10.5%	0.0%	9.1%	1.1%
あなたく	16.2%	18.9%	4.5%	2.3%
ボランティア輸送	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自転車	0.0%	5.4%	0.0%	0.0%
徒歩	3.1%	16.2%	22.7%	0.0%
その他	0.5%	0.0%	4.5%	0.0%

図3-35 通院の交通手段

④ 運転免許の返納意向

- 自動車及び自動二輪等の運転免許保有者は 65.7%
- 65 歳以上の運転免許保有者のうち 36.4%が、「加齢により運転能力の低下を感じているが、車の運転が生活に欠かせないため運転免許証を返納できない」と感じている。

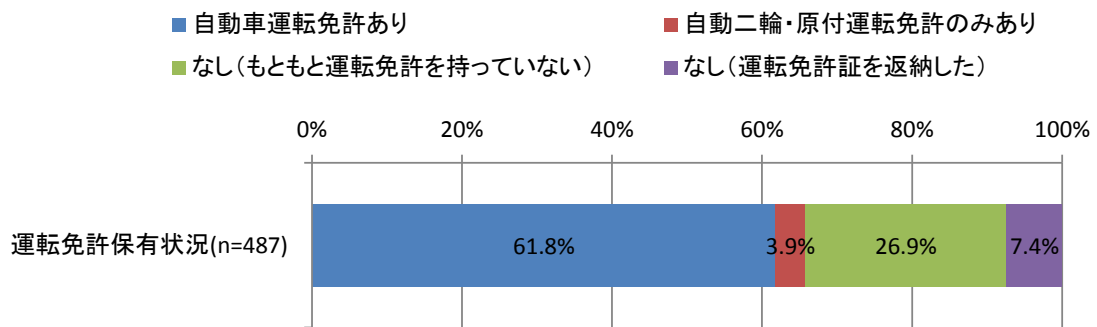


図 3-36 運転免許の保有状況

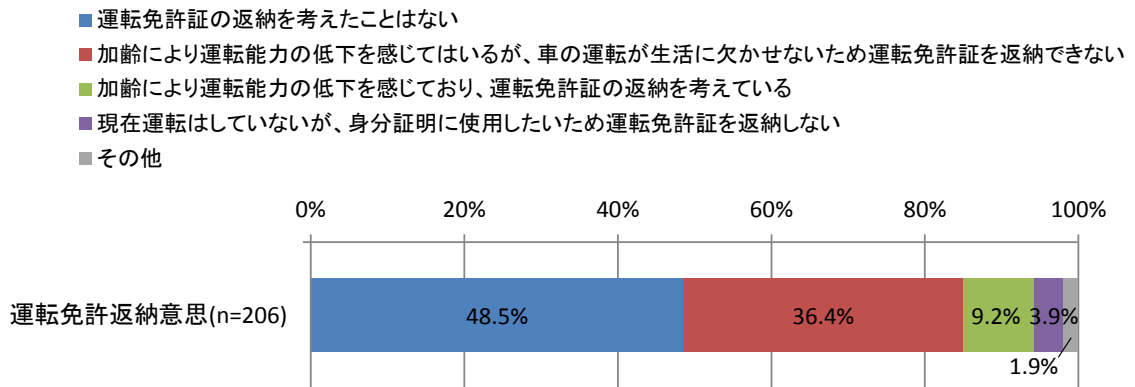


図 3-37 運転免許の返納意向

⑤ 路線バスの改善要望

- 増便に関する要望が最も多く、次いで、町内バスやあなたくとの乗継の利便性向上に関する要望や広島市までの時間短縮の要望が高い。

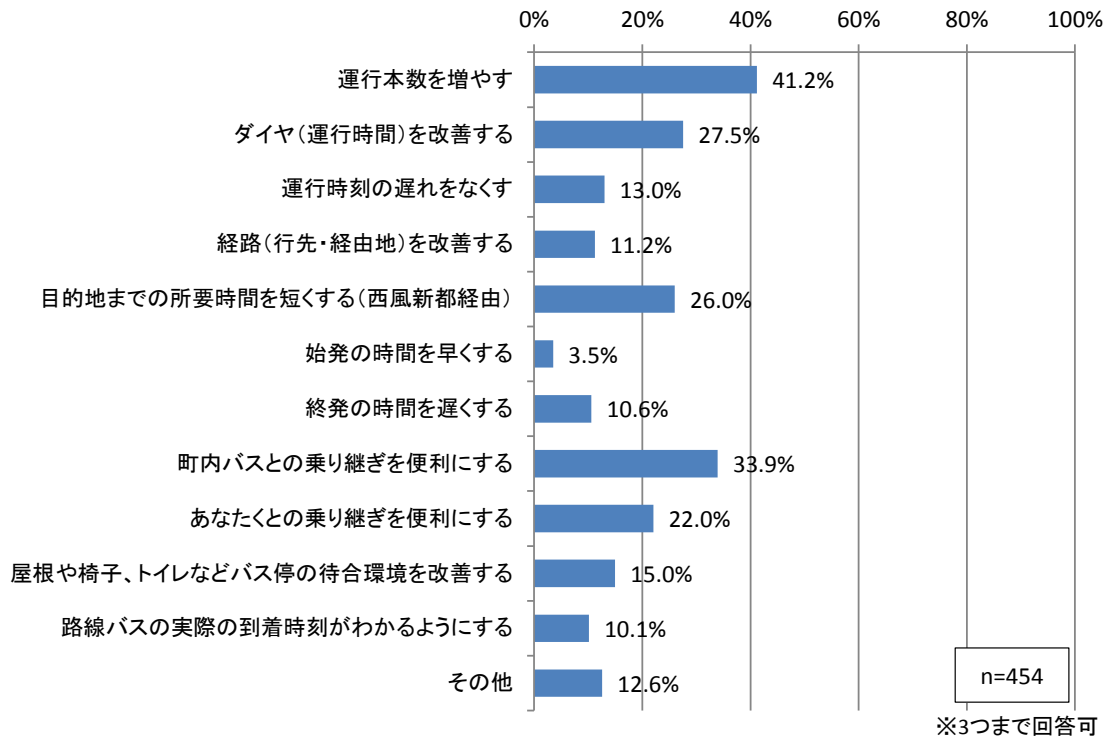


図 3-38 路線バスの改善要望

⑥ 路線バスの満足度

- 路線バスに満足している人は 27.2%、不満を感じている人は 36.8%である。

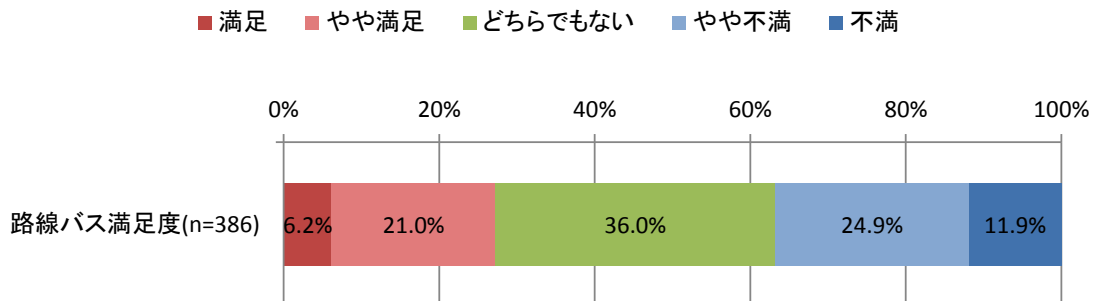


図 3-39 路線バスの満足度

⑦ 町内バスの改善要望

- 路線バスやあなたくとの乗継の利便性向上に関する要望が最も多く、次いで増便の要望が高い。

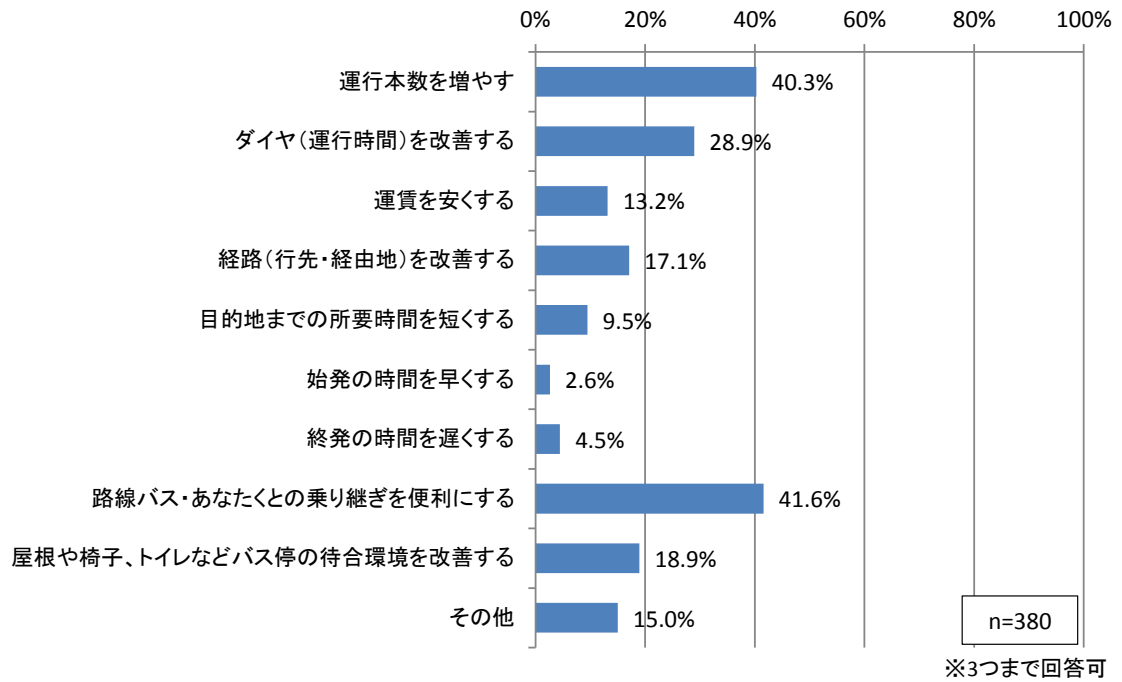


図 3-40 町内バスの改善要望

⑧ 町内バスの満足度

- 町内バスに満足している人は 17.4%、不満を感じている人は 35.9%である。

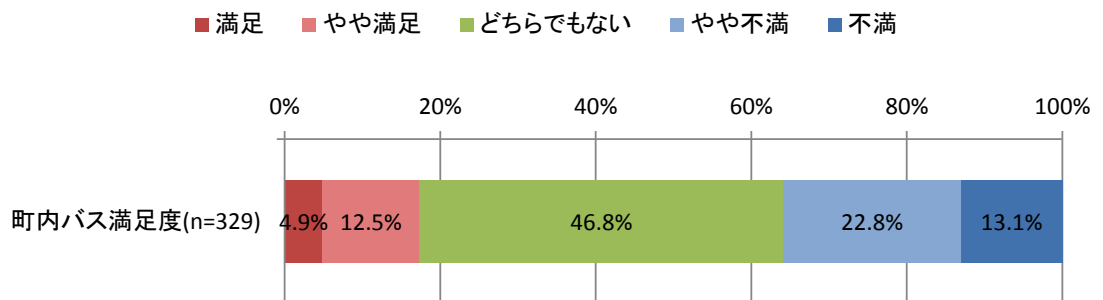


図 3-41 町内バスの満足度

⑨ あなたの改善要望

- 路線バスや町内バスとの乗継の利便性向上に関する要望が最も多く、次いで増便の要望が高い。

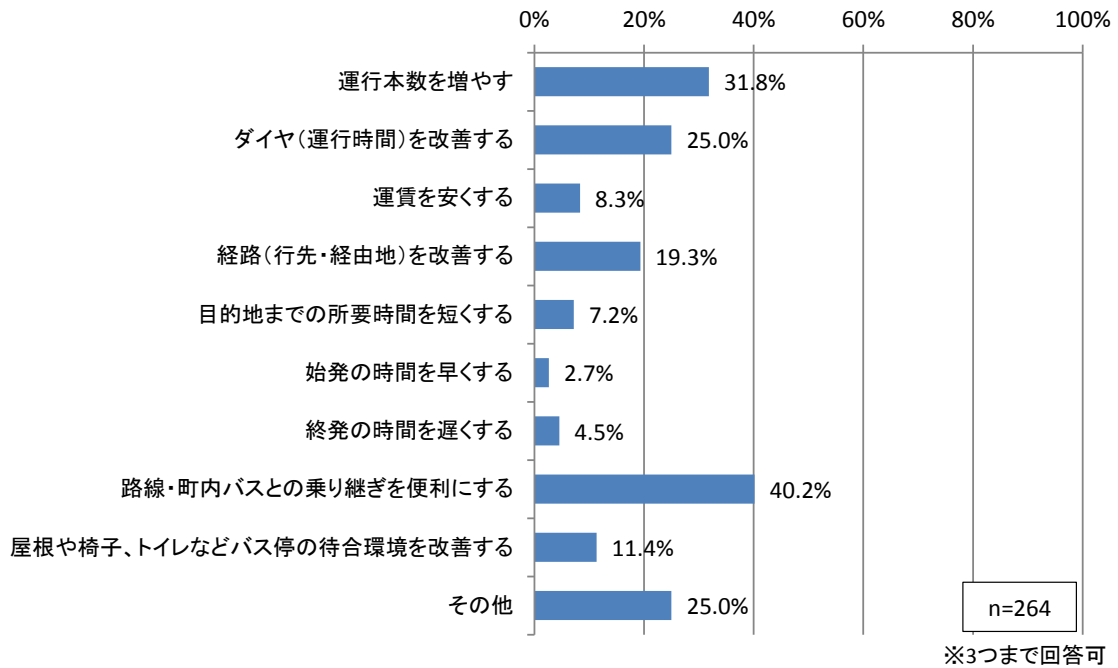


図 3-42 あなたの改善要望

⑩ あなたの満足度

- あなたくに満足している人は 26.7%、不満を感じている人は 25.2%である。

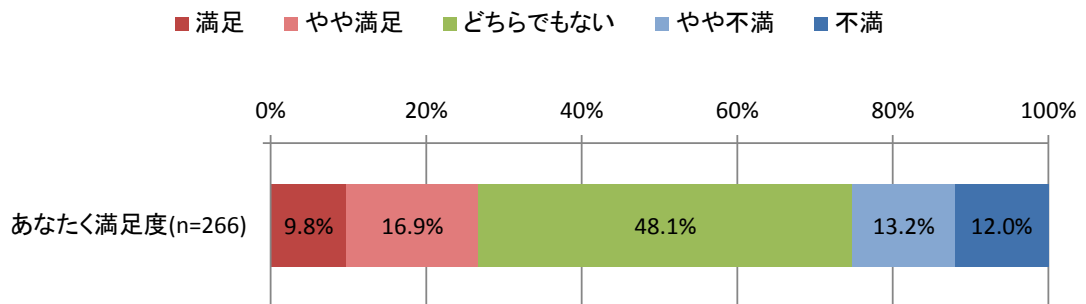


図 3-43 あなたの満足度

⑪ 公共交通政策に対する考え

- 現状の公共交通の維持と広島市と繋ぐバス路線の充実を望む意見が多い。

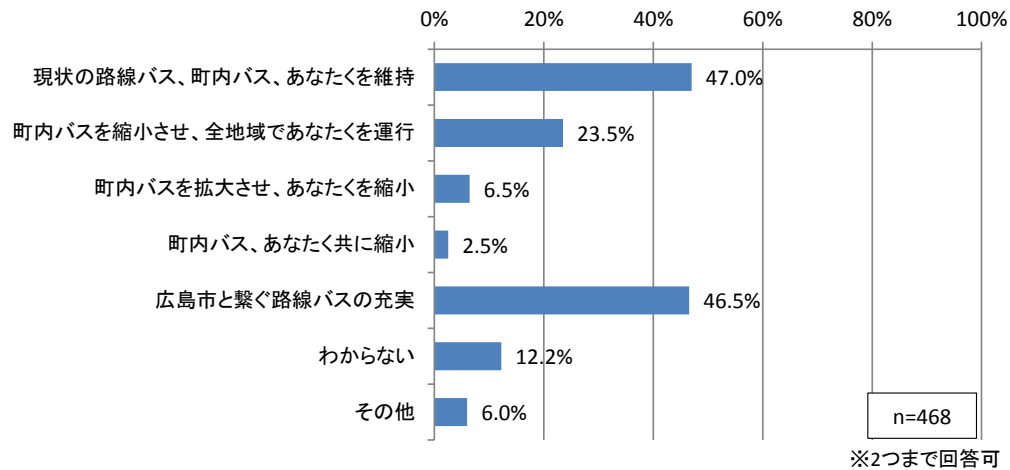


図3-44 公共交通政策に対する考え

3-3. 総論

住民アンケート調査結果から明らかになった公共交通の現況と課題を整理する。

■公共交通の利用状況、買物、通院の状況

- ✓ 町内バス、あなたくを月に1回以上利用する人は2割以下。
- ✓ 主な買物先は加計ショッピングセンターで週1回以下の頻度で行く人が多い。自ら運転する人の割合が高いが、家族等の送迎やあなたくを利用する人もいる。
- ✓ 主な通院先は安芸太田病院で、広島市内の病院に行く人も3割程度いる。通院の頻度は月1回の人が多い。自ら運転する人の割合が高いが、家族等の送迎や路線バスやあなたく等の公共交通を利用する人もいる。

■公共交通の課題

- ✓ 高齢ドライバーで自らの運転能力低下を感じているが、自動車が生活に欠かせないため運転免許証の返納ができない人が36.4%おり、地域内交通の利便性の向上と周知を図る必要がある。
- ✓ 路線バス、町内バス、あなたく間の乗継利便性の向上の要望が高く、路線バスの遅れへの対応による確実な乗継を実現する必要がある。
- ✓ 時間短縮や増便など、広島都心部への広域移動サービスの向上が求められている。
- ✓ 町内バス、あなたくは、町民の行動パターンや移動ニーズ、改善要望に応じた見直しを図る必要がある。
- ✓ 町内バスやあなたくの空きスペース等を活用した貨物運搬など、効率的な運行を検討する必要がある。

第4章 公共交通に関する課題と公共交通が果たすべき役割

1. 公共交通の課題

1-1. 公共交通網に関する課題

① 町内バス、あなたく等の効率化

全国平均と比較しても、空間的アクセシビリティは高い水準を確保しており、町内の大半が公共交通でカバー出来ている。その反面、町の財政負担が非常に大きくなっている。

また、利用者が少ないため、1乗車当たりの負担額が大きい路線も存在している。

町内バス、あなたく及びスクールバスの運行エリアの重複状況、通学での利用の有無、効果（日平均利用者数）、効率性（投資効果）、便稼働率等を個別に検証した上で、地域毎に地域内交通の見直しを検討する必要がある。

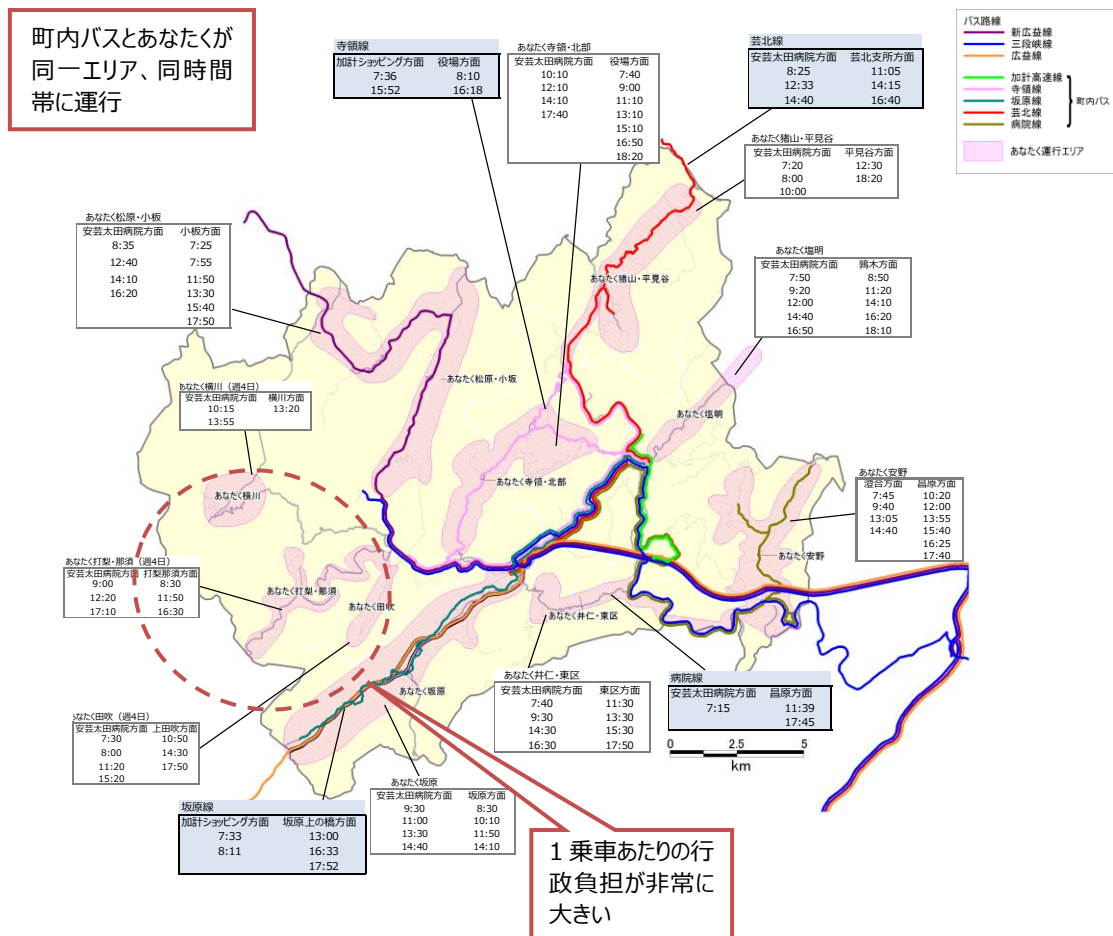


図4-1 町内バスとあなたくの運行状況

② 適切な行政負担に基づくサービス水準の見直し

あなたくは日・祝を除き毎日運行しており、高いサービスを提供しているが、あなたく「田吹・打梨・那須・横川」は1乗車あたりの行政負担が他の地域と比較して突出した金額（15,000円超）となっており、財政的には非効率である。

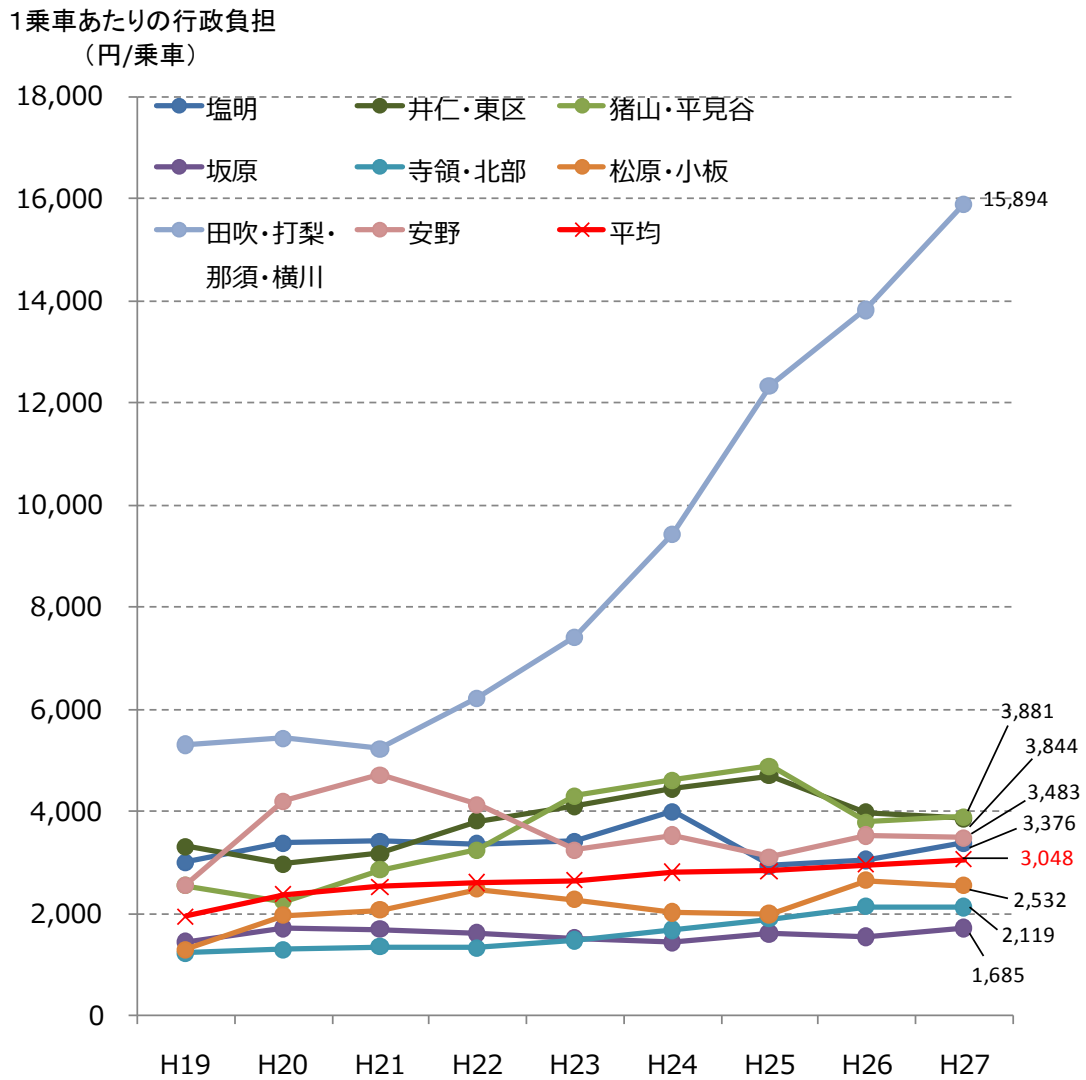


図4-2 あなたくの1乗車あたりの行政負担

また、運賃の設定基準、運行範囲、運行日といった運行の決まりが統一化されておらず、地域によっては不公平感が生じている。

運賃格差は、町内バスとの間でも生じており、検討・是正の必要がある。

例) 町内バス坂原線 坂原 ⇒ 安芸太田病院 運賃 660 円

あなたく坂原：200 円

町内バス芸北線 平見谷 ⇒ 安芸太田病院 運賃 720 円

あなたく平見谷・猪山：200 円

買物や通院、通学といった日常生活を送る上で必要な移動手段の確保を前提とした上で、持続可能な公共交通の制度を構築していく必要があり、人口減少等の社会情勢を踏まえた上で、運賃、運行エリアのサービス水準を統一化し、町内バス、あなたくの効率化を図る必要がある。

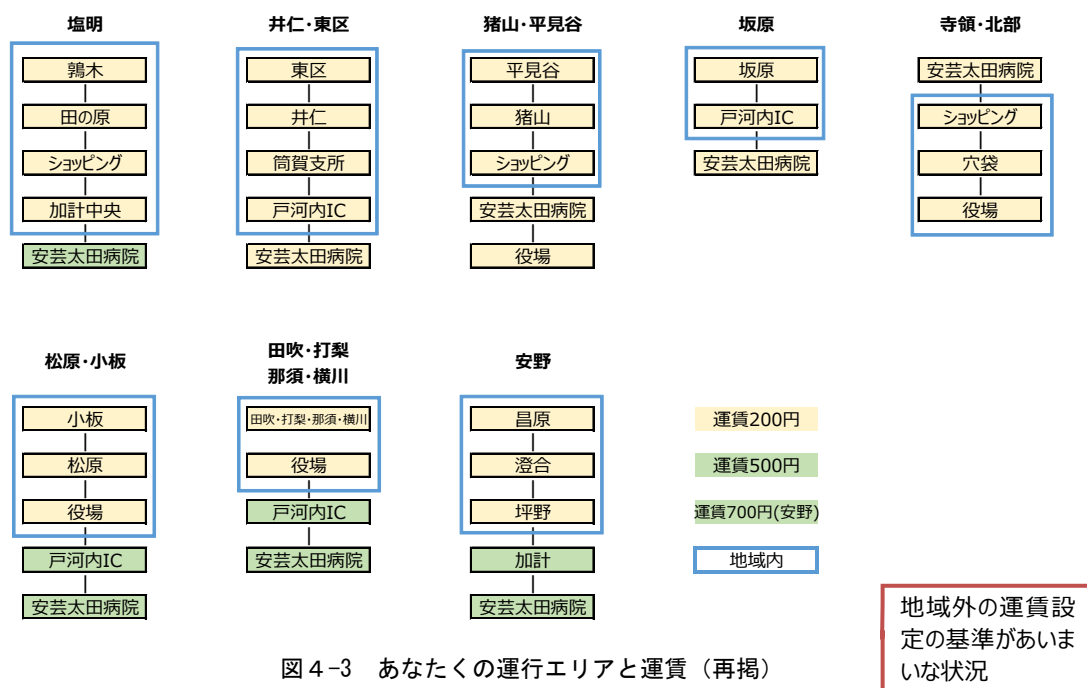


図 4-3 あなたくの運行エリアと運賃（再掲）

③ 広島市へのアクセス性の改善

三段峡線（在来線）は、広島市内の朝・夕の渋滞により下り便に遅延が生じており、町内バスやあなたくとの乗継が出来ない場合がある。

広島都心部への広域移動サービスの向上を図るために、広域路線バスの定時性の確保、時間短縮、運行ダイヤの見直し等について、検討を行う必要がある。

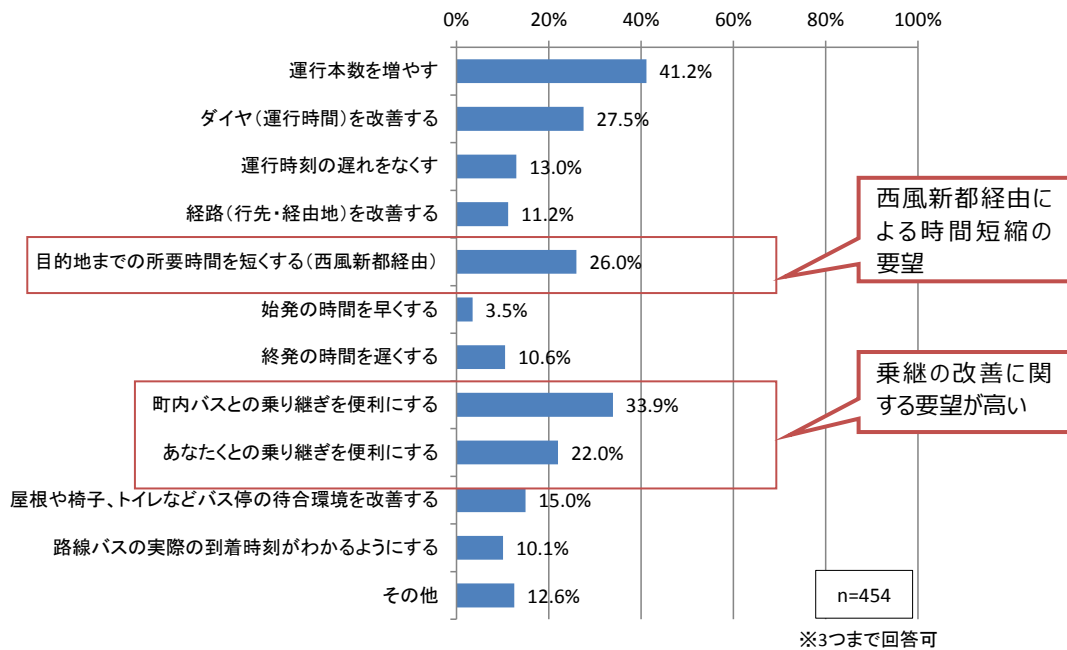


図 4-4 路線バスの改善要望（再掲）

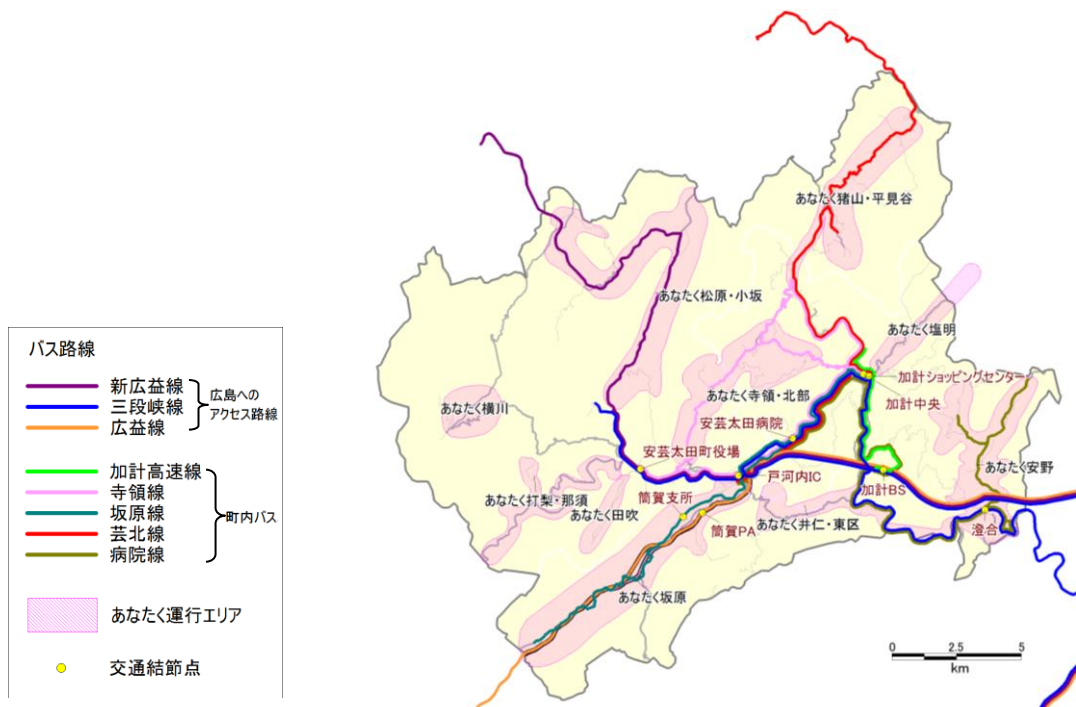


図 4-5 公共交通網の現状（再掲）

1-2. 利用促進に関する課題

① 住民や観光客に分かりやすい情報提供

現在、町全体の公共交通の情報を掲載している地図がなく、適切な情報提供・発信が出来ていない。町内バスとあなたくの時刻表は各々作成しているが、乗継が可能なバス停、乗継時間の情報を掲載出来ていない。また、あなたくの時刻表は、降車可能な目的地のバス停や経路が明確に記載しておらず、初めて使う人にとっては分かりにくい状況である。

特にあなたくについては、新たな利用者や観光客でも分かりやすい利用の手引を作成し、戸別配布やホームページ上に掲載するなど、広く情報提供を行う必要がある。

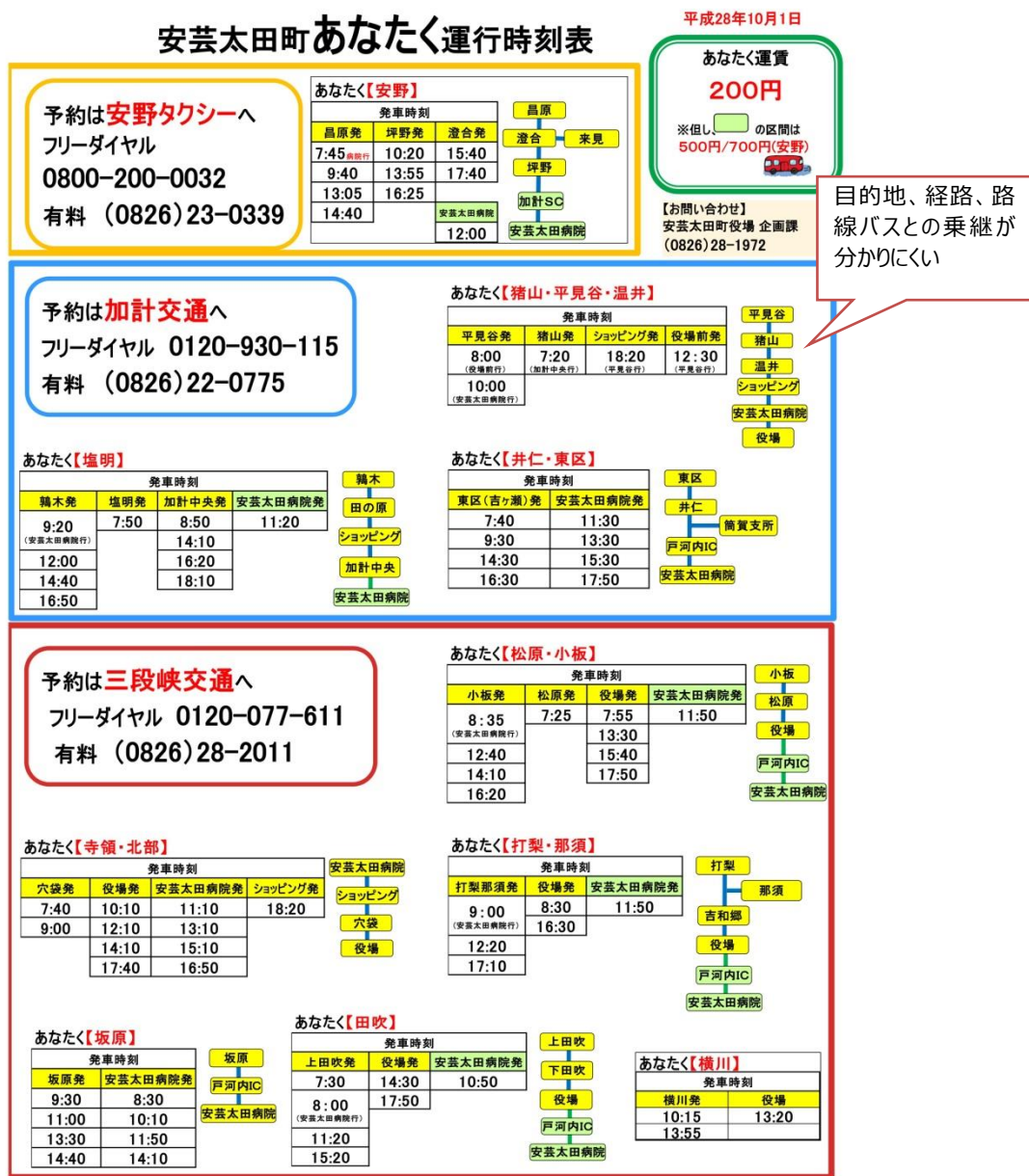


図 4-6 あなたくの時刻表

② 交通結節点の利用環境の整備、利便性の向上

本町の公共交通体系は、路線バス、町内バス、あなたくから構成されており、広域を移動する際には、交通機関の乗継が必要になる。

町内の交通結節点は概ね風雨がしのげる待合環境を整備しているが、一部入口に扉がなく、降雪時等に寒さがしのげない状況がある。

町内の移動環境を総合的に向上させるためには、一部の交通結節点の待合環境の向上や乗継の不安の解消を図る工夫が必要である。

また、主な交通結節点に加えて、一般のバス停においても老朽化した箇所やベンチや上屋の設置を充実させる必要がある。



図 4-7 交通結節点

③ 新たな利用者の掘り起こし

本町は、良質の各種観光資源と広島市からの近接性を生かして、観光振興による地域活性化を目指している。特に、三段峡や井仁の棚田は、バックパッカーなどを中心とした外国人観光客が増加傾向であり、観光振興戦略の一つとして「インバウンド」を掲げている。

価値を有効に活用できる観光資源を商品化し展開するとともに、公共交通の情報提供や環境整備を行い、観光客にも公共交通を利用してもらう施策の展開が必要である。

また、あなたくは運行開始から10年以上が経過し、利用世代の交代時期が到来しているにも関わらず、新たな高齢者に利用方法が伝わっていない可能性がある。公共交通環境の改善と共に利用方法の周知を図り、高齢者が安心して運転免許証を返納できる環境づくりを進める必要がある。

1-3. 協働・連携に関する課題

① 関係主体との連携と役割分担の明確化

広域移動の確保は、隣接する市町、交通事業者との連携が必要である。また、地域の公共交通を維持するためには、住民のみならず、公共交通の沿線や運行区域内の施設等との連携が重要となる。

② 住民との協働、地域が公共交通を支える取組に関する支援

公共交通の維持には、利用者である住民の理解と協力が欠かせないため、地域住民、運行事業者、行政が一緒になって公共交通に関して懇談する場「公共交通を考える会」を定期的に開催し、住民との協働を推進するとともに、住民が主体となった移動手段の導入を行う場合においては、これらの取組を支援する仕組みをつくる必要がある。

2. 公共交通が果たすべき役割

① 住民の移動手段の確保

公共交通は、特に自動車での移動が困難な交通弱者が、自立した日常生活を送る上で必要な社会基盤である。通学、通勤、通院、買物等に対応した移動サービスを提供することにより、住民の移動手段を確保し、安心して暮らせるまちの実現を目指す。

② 地域の活性化への寄与

公共交通を整備することにより外出機会を増やし、まちに賑わいを創出させる。

また、公共交通を通じて安芸太田町第二次長期総合計画のめざす将来像である「ほどほど便利 とびきり幸せ 笑顔かがやく里山のまち」の実現を目指す。

③ 交流人口増加への寄与

観光客が利用しやすい移動サービスの提供を図るとともに、公共交通の情報提供の充実、観光施策との連携により、交流人口の拡大による経済波及効果の増加（寄与）を目指す。

第5章 安芸太田町地域公共交通網形成計画の基本方針と目標及び数値指標

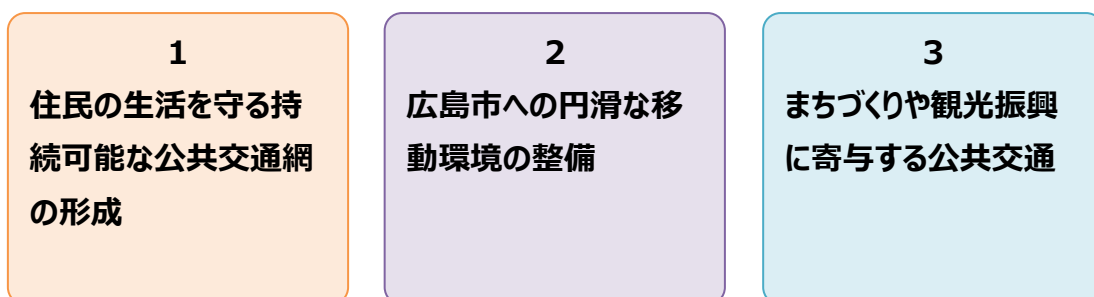
1. 計画の基本的な方針

安芸太田町第二次長期総合計画の目指す将来像や基本理念を踏まえるとともに、公共交通の課題や公共交通が果たすべき役割を踏まえ、本計画が目指す将来像、基本的な方針（地域公共交通のあるべき姿）を以下の通り設定する。

大目標

公共交通を通じて、「ほどほど便利 とびきり幸せ 笑顔かがやく里山のまち」を実現する

計画の基本的な方針



ほどほど：ちょうどよい程度、適度という意味合いで用いています。

2. 本町が目指すべき公共交通網のすがた

2-1. 再編の方針

地域内移動サービスの再編の方針を以下の通り設定する。

- ① 三段峡線、広益線・新広益線を維持し、住民の通勤・通学・通院など日常生活圏域である広島市へのアクセスを確保すると共に、観光客などの町外利用者が来町者しやすい公共交通網を維持する。
- ② 適材適所の交通手段を検討し、ほどほど便利で持続可能な日常生活の移動手段を確保する。
- ③ 町内バス・あなたくの運用基準を定め、効果的・効率的な移動サービスを地域住民や関係者等一緒に考え、再編・実施する。
- ④ 他の公共交通との運賃格差が生じているあなたく運賃の見直しを実施する。
- ⑤ 人とモノ（少量貨物）の混載輸送を実施する。
- ⑥ スクールバスへの一般混乗は、平成 29 年度以降の導入に向け検討を行う。
- ⑦ あなたくの運行委託料の妥当性を検証する。

2-2. 再編に向けた考え方

① 町内バスの運用基準の設定

町内バスの運用基準として、一定の効果があること、一定の効率性が確保されていることを示す指標を設定する。効果を示す指標として日平均利用者数を、効率性を示す指標として投資効果（乗車人数/百万円）を設定する。

具体の目安として、見直し実施の基準（レッドゾーン）と利用促進強化の基準（イエローゾーン）の2種類を設定する。以下に示すグラフでは、赤色と黄色の領域の境界が見直し実施の基準、白色と黄色の領域の境界が利用促進強化の基準となる。

2つの指標のいずれかが、イエローゾーンに達した場合、地域住民とともに具体的な対策を検討し、レッドゾーンに達した場合は、路線の廃止や減便、他の移動手段（あなたく等）への転換を実施する。運用基準に基づき、半年ごとに利用実態を判定し、4月もしくは10月の再編実施を目指す。

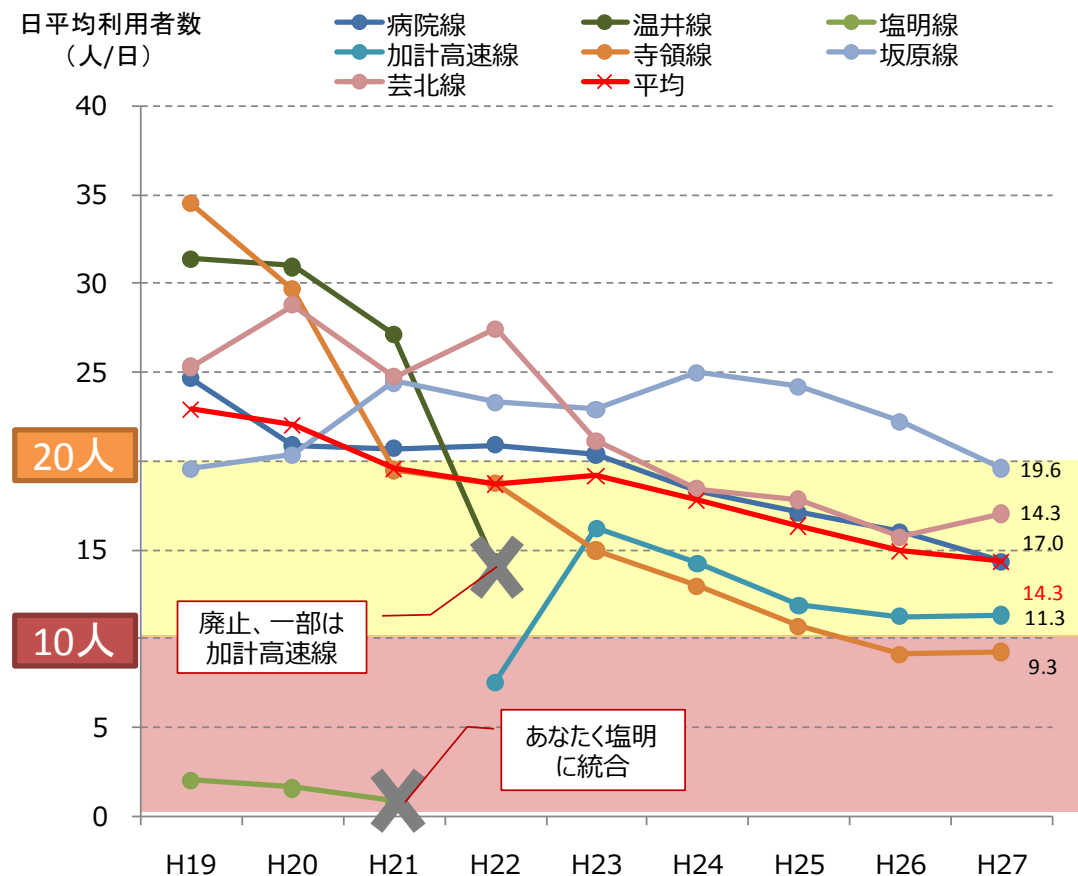


図5-1 効果を示す指標：日平均利用者数（人/日）

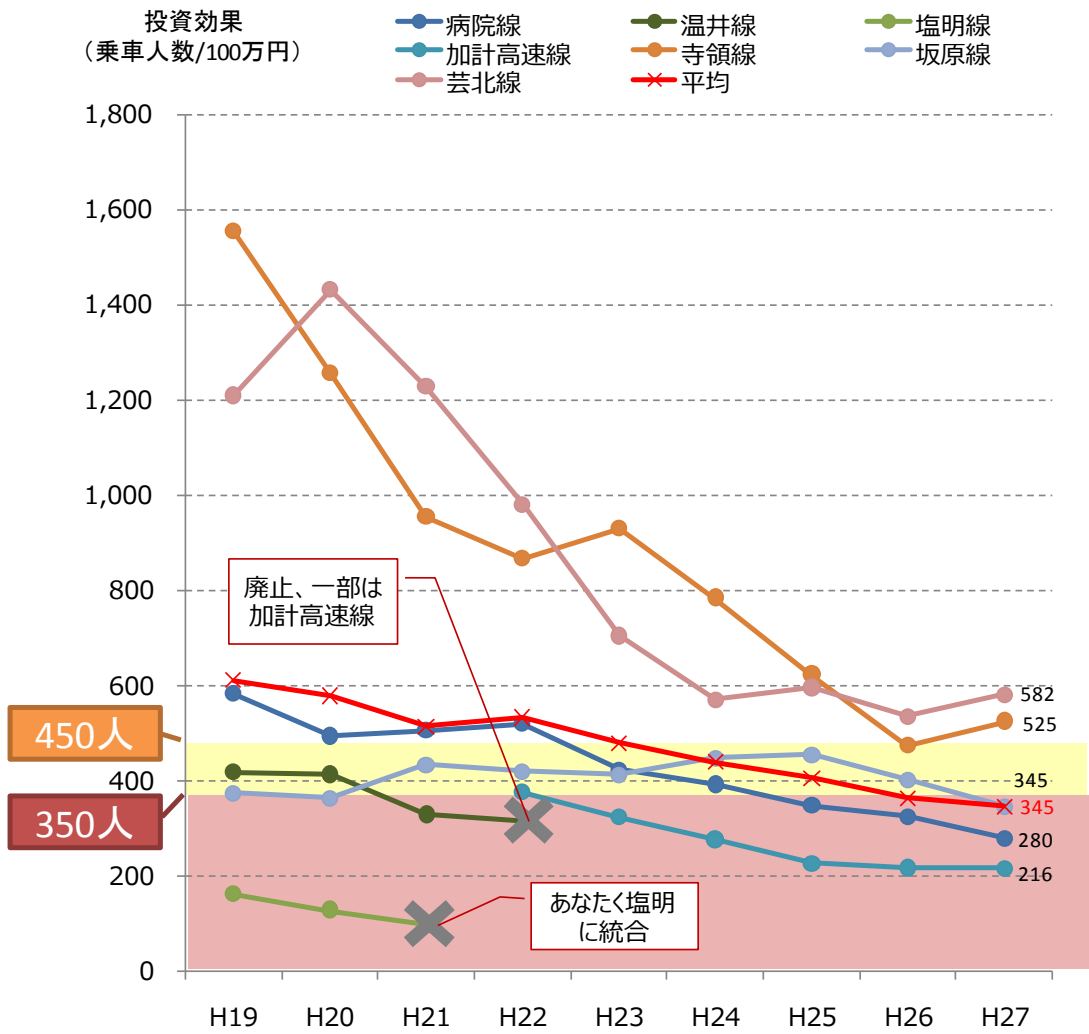


図 5-2 効率化を示す指標：投資効果（乗車人数/百万円）

② あなたの運用基準の設定

町内バスと同様に、運用基準として、一定の効果があること、一定の効率性が確保されていることを示す指標を設定する。効果を示す指標として日平均利用者数、効率性を示す指標として投資効果（乗車人数/百万円）を設定する。具体的見直しの基準として、見直し検討の基準（レッドゾーン）と利用促進強化の基準（イエローゾーン）の2種類を設定する。グラフ上は、赤色と黄色の領域の境界が見直し検討の基準、白色と黄色の領域の境界が利用促進強化の基準となる。

2つの指標のいずれかが、イエローゾーンに達した場合、地域住民とともに具体的な対策を検討し、レッドゾーンに達した場合は、他の移動手段（タクシー助成等）への転換を、実施する。

また、上記に加えて、効果を示す指標としてデマンド運行の稼働率を設定し、稼働率が30%未満となった場合は、運行改善、利用促進を検討する。次に運行日を集約することで稼働率の向上を図り、稼働率の改善が見られない場合は、他の移動手段（タクシー助成等）への転換を実施する。

半年ごとに利用実態を判定し、4月もしくは10月の再編実施を目指す。

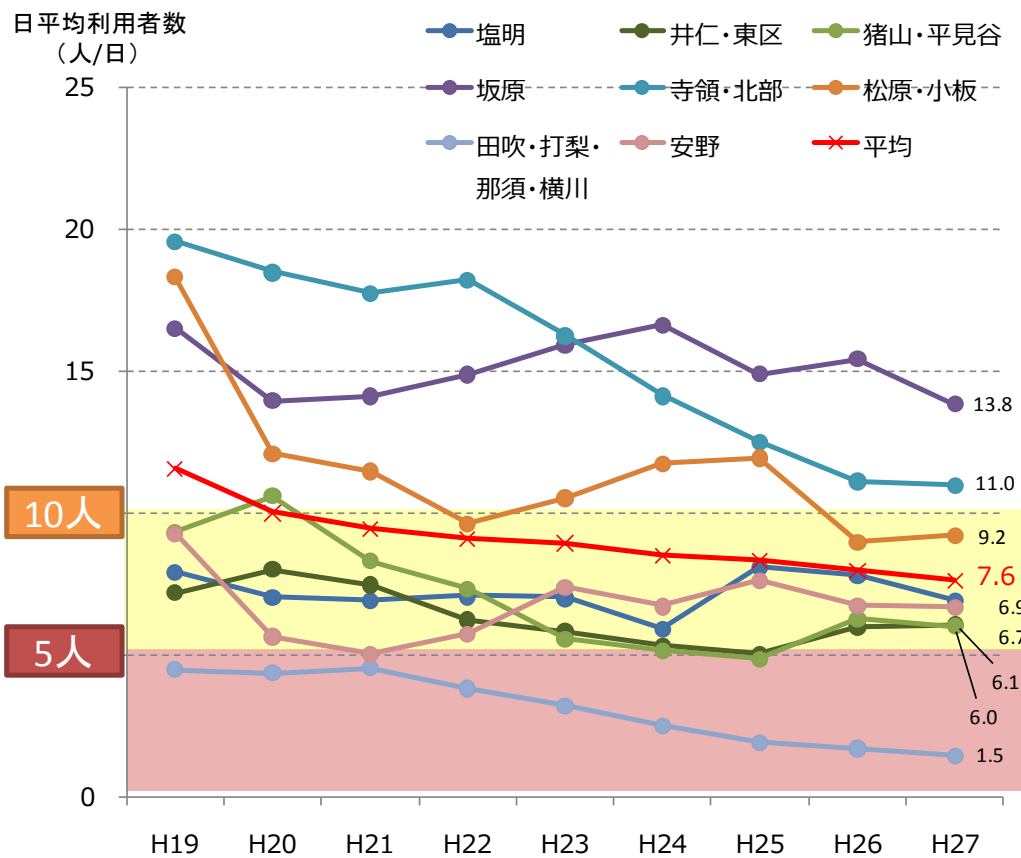


図5-3 効果を示す指標：日平均利用者数（人/日）

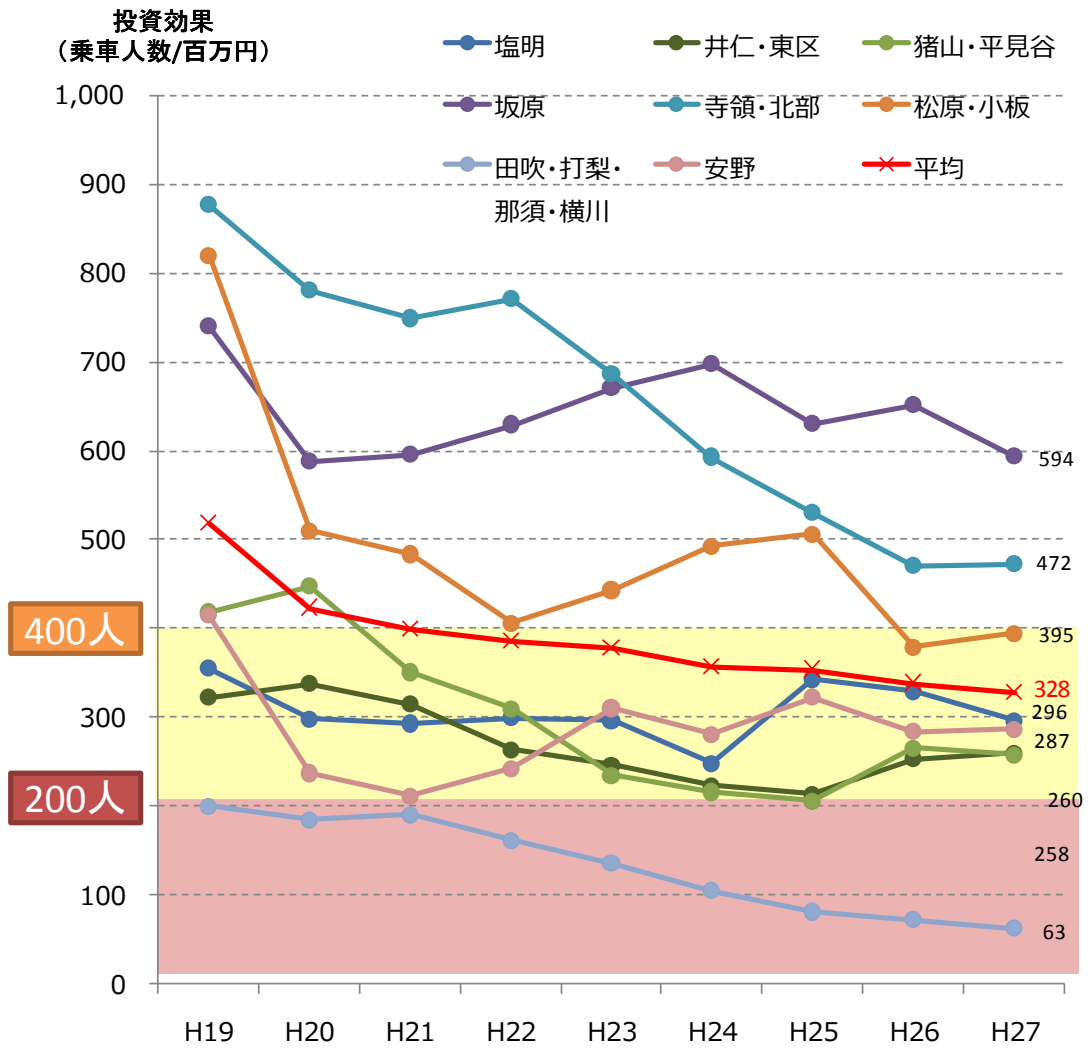


図5-4 効率化を示す指標：投資効果（乗車人数/百万円）

(稼働率)

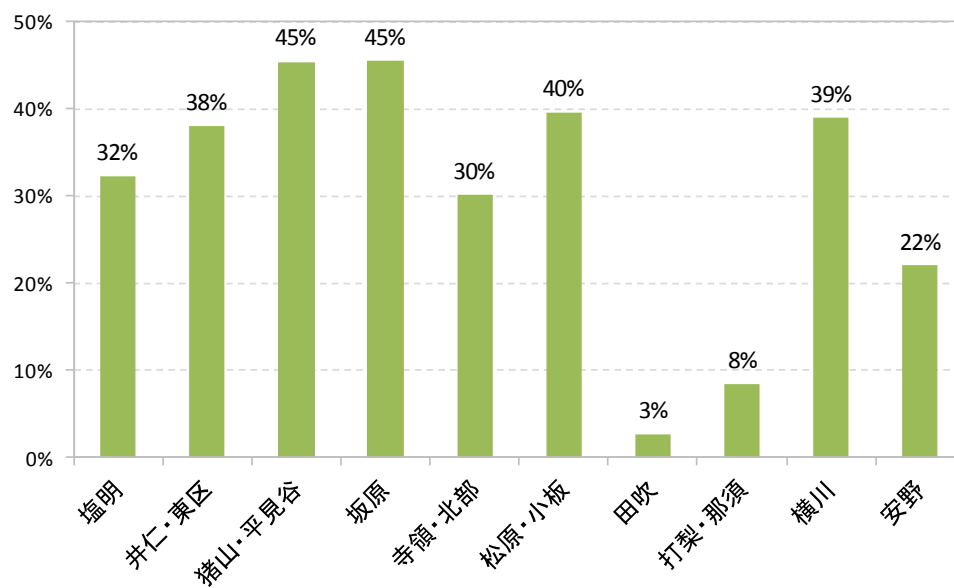


图 5-5 便稼働率

2-3. 再編に向けた検討課題図

公共交通の再編に向けた検討課題図を整理する。



図5-6 再編に向けた検討課題図

2-4. 各種交通機関の役割

公共交通網の将来像で位置づけた各交通機関の役割を整理する。

将来像	交通機関	対象路線	役割	
広域路線バス	路線バス	広益線 新広益線 三段峡（高速便）	<ul style="list-style-type: none"> 生活都市圏域、二次保健医療（高度医療）圏域である広島市への移動手段 観光客など、安芸太田町に対する訪問者の移動手段 【西風新都経由の路線】広島市への速達性を重視した路線により、利便性の向上を図り、新規利用者を開拓 	
		三段峡（在来線）	<ul style="list-style-type: none"> 生活都市圏域、二次保健医療（高度医療）圏域である広島市への移動手段 	
		三段峡（可部代替）	<ul style="list-style-type: none"> 生活都市圏域、二次保健医療（高度医療）圏域である広島市への移動手段 	
町内幹線	町内バス	路線の見直しを検討	<ul style="list-style-type: none"> 三段峡～澄合間の町内幹線を担う路線 	
地域内交通			あなたく	<ul style="list-style-type: none"> 町内における通勤・通学及び通院など、定時制を必要とする地域の移動手段
		自家用有償旅客運送	上殿・田吹	<ul style="list-style-type: none"> 買い物及び通院など、町民の主要な移動手段
		タクシー	町全域	<ul style="list-style-type: none"> 町全体の移動手段 あなたく運行エリア外の高齢者（65歳以上）移動支援（交通空白地帯を補完）
交通結節点	路線バス 町内バス あなたく	戸河内 I C 加計 B S 筒賀 P A 澄合 加計ショッピング 加計中央 安芸太田病院 安芸太田町役場前 筒賀支所前	<ul style="list-style-type: none"> 広域路線、町内バス、あなたくその他交通の拠点 	
その他	スクールバス	町内スクールバス路線	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学生の通学利用を最優先に運行しながら、一般混乗を検討し公共交通の1つとして運行する。 	
	福祉有償運送	町全域	<ul style="list-style-type: none"> 要支援認定や要介護認定等を受け、他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ単独でタクシー等の公共交通を利用することが困難な人を対象とする 	
	観光タクシー	町全域	<ul style="list-style-type: none"> 二次交通として観光客（外国人を含む）などの移動手段 	

3. 計画の目標と数値指標・目標値

計画の基本的な方針を実現するため、本計画期間中に達成すべき目標と数値指標及び目標値を設定する。

基本方針 1	住民の生活を守る持続可能な公共交通網の形成
--------	------------------------------

目標 1-1 公共交通への適切な投資のもと、日常生活のための移動サービスを確保します							
数値指標①	あなたくの投資効果（乗車人数/百万円）						
目標値	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">現状（H27）</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">目標（H33）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">328 人/百万円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">400 人/百万円</td> </tr> </table>	現状（H27）		目標（H33）	328 人/百万円		400 人/百万円
現状（H27）		目標（H33）					
328 人/百万円		400 人/百万円					
設定理由	運用基準（一定の効率性を確保するため、投資効果の利用促進強化の基準値（400 人/百万円））を目標値に設定						
計測方法	交通事業者からの実績報告をもとに把握						
数値指標②	町内バスの投資効果（乗車人数/百万円）						
目標値	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">現状（H27）</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">目標（H33）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">345 人/百万円</td> <td></td> <td style="text-align: center;">450 人/百万円</td> </tr> </table>	現状（H27）		目標（H33）	345 人/百万円		450 人/百万円
現状（H27）		目標（H33）					
345 人/百万円		450 人/百万円					
設定理由	運用基準（一定の効率性を確保するため、投資効果の利用促進強化の基準値（450 人/百万円））を目標値に設定						
計測方法	交通事業者からの実績報告をもとに把握						

目標 1-2 公共交通の利用環境を改善します							
数値指標①	利便性の高い公共交通の整備に関する満足度						
目標値	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">現状（H25）</td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;">目標（H33）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">16.8 %</td> <td></td> <td style="text-align: center;">30.0 %</td> </tr> </table>	現状（H25）		目標（H33）	16.8 %		30.0 %
現状（H25）		目標（H33）					
16.8 %		30.0 %					
設定理由	第二次安芸太田町長期総合計画での目標値の1つとして設定						
計測方法	第二次安芸太田町長期総合計画による住民アンケート						

数値指標②	町内バス、あなたくの車両の補助ステップ搭載車両数	
目標値	現状（H28） ステップ搭載車両数 4 台	目標（H33） 8 台
設定理由	高齢者の利用環境を改善するため車両のバリアフリー化を推進するため目標値を設定	
計測方法	交通事業者からの実績報告をもとに把握	

目標 1-3 公共交通の利用促進を図ります		
数値指標①	公共交通を考える会の開催回数	
目標値	現状（H27） 2 回／年	目標（H33） 8 回／年
設定理由	公共交通に関する意見交換の場を、年に8回開催（あなたく運行8地域を想定）	
計測方法	実績により把握	

基本方針 2	広島市への円滑な移動環境の整備
--------	------------------------

目標 2-1 広島市内のアクセス性の向上を図ります		
数値指標①	三段峡線の町内利用者数（平日 PASPY 利用者）	
目標値	現状（H28） 249 人/日	目標（H33） 249 人/日
設定理由	人口減少の進展に伴い、公共交通利用者も減少する可能性があるが、三段峡線を維持・確保するため、現状維持が必須	
計測方法	PASPY データを集計して把握	
数値指標②	広益線、新広益線の町内利用者数	
目標値	現状（H27） 51 人/日	目標（H33） 51 人/日
設定理由	人口減少の進展に伴い、公共交通利用者も減少する可能性があるが、広益線・新広益線を維持・確保するため、現状維持が必須	

計測方法	交通事業者からの実績報告をもとに把握
------	--------------------

基本方針 3	まちづくりや観光振興に寄与する公共交通
--------	---------------------

目標 3-1 観光客が利用できる環境を整備する							
数値指標①	バス利用観光客数						
目標値	<table border="0"> <tr> <td>現状（H27）</td> <td>➔</td> <td>目標（H33）</td> </tr> <tr> <td>38 千人/年</td> <td></td> <td>40 千人/年</td> </tr> </table>	現状（H27）	➔	目標（H33）	38 千人/年		40 千人/年
現状（H27）	➔	目標（H33）					
38 千人/年		40 千人/年					
設定理由	安芸太田町第二次長期総合計画において、入込観光客数 5%増加が目標値 バスによる観光客数も 5%増加を目指す						
計測方法	「広島県観光客数の動向調査」による交通機関別観光客数により把握						

第6章 目標達成のための具体的な事業

1. 目標を達成するための事業内容と実施主体

1-1. 施策の体系図

<大目標> 公共交通を通じて、「ほどほど便利 とびきり幸せ 笑顔かがやく里山のまち」を実現する

	目 標	目標に対する評価指標	現状値	目標値	個別事業	実施主体
基本方針 1 住民の生活を守る持 続可能な公共交通網 の形成	目標 1-1 公共交通への適切な投資のもと、日常生活のための移動サービスを確保します	あなたくの投資効果	328 人/百万円	400 人/百万円	1 町内バス、あなたく等の効率化	安芸太田町、交通事業者
		町内バスの投資効果	345 人/百万円	450 人/百万円		
	目標 1-2 公共交通の利用環境を改善します	町内バス・あなたくの補助ステップ搭載車両数	4台	8台	2 車両のバリアフリー化（補助ステップ整備）	安芸太田町、交通事業者
		利便性の高い公共交通の整備に関する満足度	16.8 %	30.0 %	3 乗継時間の調整	安芸太田町、交通事業者
	4 荷物運搬サービス導入の検討				安芸太田町、交通事業者	
	目標 1-3 公共交通の利用促進を図ります	「公共交通を考える会（活かす会）」の開催回数	2 回/年	8 回/年	5 地域・集落単位で「公共交通を考える会」を開催	安芸太田町、交通事業者、住民、社会福祉協議会
6 あなたくの利用促進					安芸太田町、交通事業者	
基本方針 2 広島市への円滑な移 動環境の整備	目標 2-1 広島市内のアクセス性の向上を図ります	三段峡線の町内利用者数（平日PASPY利用者）	249 人/日	249 人/日	7 広島都心部への広域移動サービス向上の検討	安芸太田町、交通事業者
		広益線、新広益線の町内利用者数	51 人/日	51 人/日	8 交通結節点の待合環境の整備	安芸太田町、交通事業者
基本方針 3 まちづくりや観光振興 に寄与する公共交通	目標 3-1 観光客が利用できる環境を整備します	バス利用観光客数	38 千人/年	40 千人/年	9 観光タクシーの検討	安芸太田町、交通事業者、観光協会

1-2. 事業内容と実施主体

目標 1-1 公共交通への適切な投資のもと、日常生活のための移動サービスを確保します

事業 1 地域内交通の効率化と利便性の向上

○運用基準に基づく検証・実施

- ・町内バスとあなたくは、利用状況と課題、運用基準（日平均利用者数、投資効果、便稼働率）に基づき、路線毎に評価・検証を行う。
- ・基準を下回る場合は、状況に応じてあなたくと町内バスの統合、運行の見直し、他の移動手段への移行を実施する。
- ・運用基準に基づき、平成 28 年 10 月より田吹・打梨・那須・横川のあなたく運行日の集約化を行い、検証している。利用低迷が続く場合は、タクシー助成等、他の移動手段への転換を検討する。他の路線も同様に、見直し、検証を行う。

○あなたく運賃の統一化

- ・区域内運賃と区域外運賃をすべての路線で適用する。また、状況に合わせ全路線で新たな運賃設定を検討する。

○町内バス、あなたくの統合、町内幹線強化の検討・実施

- ・町内バスとあなたく及び、広域路線バスが重複して運行している区間は、効率化を図るために、以下の条件を踏まえて、町内バスの運行サービスの見直し、町内バスはあなたくへの統合を検討する。また、効率化した町内バスは、町内幹線（三段峡～澄合間）の運行を検討する。

●統合できる条件

- ✓ 同一時間帯、同一方面に向けて運行している。
- ✓ 同一時間帯に運行していないが、効率化により1台でダイヤが組める。
- ✓ 児童・生徒が通学で利用している場合は、統合後も通学に利用できるよう、通学便は定時定路線として運行する。

○スクールバスへの一般混乗の検討

- ・町内スクールバスの利用・運行状況を踏まえ、平成 29 年度以降の導入に向け、学生限定や路線限定の混乗等、柔軟に可能な範囲で検討する。

事業主体：安芸太田町、交通事業者

実施時期：平成 29 年度～平成 33 年度

目標 1-2 公共交通の利用環境を改善します

事業 2 バリアフリー車両の導入

- ・町内バスやあなたくについて、自動補助ステップや踏み台を設置する。



図 6-1 自動補助ステップのイメージ



図 6-2 補助ステップのイメージ

- ・広域路線バスはすでにバリアフリー化（低床スロープ付ステップバスが導入）されている。



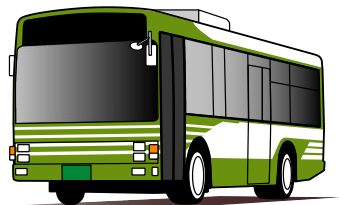
図 6-3 低床型車両の例（広島電鉄）

事業主体：安芸太田町、交通事業者

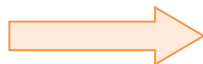
実施時期：平成 29 年度～平成 33 年度

事業3 乗継時間の調整

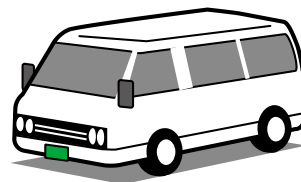
- ・路線バスの遅れによって地域内交通に乗り継ぎができない状況を改善する必要がある、バスロケーションシステムで蓄積されたデータを活用して三段峡線（在来線）等の運行状況を確認し、町内バスとあなたくのダイヤの見直しを行う。
- ・路線バスが遅延した場合は、町内バスやあなたくが5分程度待機するなど、路線バスを待つことができるルールを導入を検討する。



広域路線バス



確実な乗継



あなたく、町内バス

事業主体：安芸太田町、交通事業者

実施時期：平成29年度～平成33年度

事業4 荷物運搬サービス導入の検討

- ・町内バスやあなたくにおいて、利用者の乗車を妨げない範囲における少量の荷物運搬サービスを実施する。
- ・考える会（意見交換会）で要望のあった産直市等への野菜の出荷や、商業施設と連携した食料品や飲料、雑貨、肥料などの配送を実施する。



図6-1 野菜の出荷先の候補
(戸河内IC付近の太田川産直市)



【貨物輸送料金】
・道の駅の出荷手数料：100円/1コンテナ
・貨物運送料：100円/1コンテナ

図6-2 貨物輸送の事例（愛媛県内子町）

事業主体：安芸太田町、交通事業者

実施時期：平成29年度～平成33年度

目標 1-3 公共交通の利用促進を図ります

事業 5 地域・集落単位で「公共交通を考える会」を開催

- ・今後想定される超高齢化社会において、公共交通に対する住民ニーズ、特に高齢者のニーズは多岐にわたり、また、年々変化・深刻化していくと思われる。
- ・多種多様となる住民の移動ニーズや要望を的確に捉え、持続可能な公共交通を地域住民とともに検討するため、地域・集落単位で『公共交通を考える会』を開催する。
- ・『公共交通を考える会』は、公共交通に関して懇談する場であり、地域住民、運行事業者、行政が一緒になって定期的開催することにより、公共交通を軸とした協働によるまちづくりを推進していくものである。
- ・また、あなたくの利用方法の周知を図り、新規利用者の掘り起し（利用世代の更新）や安心して運転免許証を自主返納できる環境づくりに取り組む。



図 6-3 安野地区での『公共交通を考える会』の様子

事業主体：安芸太田町、交通事業者、住民

実施時期：平成 29 年度～平成 33 年度

事業6 あなたくの利用促進

○お試し『あなたく』の実施

- ・新規利用者の掘り起しを行うため、運行事業者と連携し『お試しあなたく』を実施する。

例えば、1ヶ月間等期間を限定した無料運行を実施し、あなたくの利用方法や便利さを体感してもらうことにより、利用促進を図る。

※利用方法の周知、運転免許証を安心して自主返納できる環境づくり、利用世代の更新

○あなたくの利用の手引の作成

- ・新たな利用者や観光客が利用できるように、地域別のあなたくの利用の手引を作成する。
- ・イラストにより分かりやすく利用方法を伝えるとともに、路線やダイヤのほか、乗継の情報などを掲載する。

大田市温泉津町

井田地区

デマンド交通 のお知らせ

デマンド交通とは、出発時間が決まっており、小型車両で事前に予約いただいた目的地に決められた目的地に運行する交通手段です。(ご利用には事前登録が必要です)

試験運行期間/平成28年3月1日(火)～平成28年8月31日(土)

利用対象地域	運行日	月～金
井田地区	※土日祝日運休、お盆は通常通り運行し	
※この地区にお住まいの方はどなたでもご利用できます。	運賃 (片道)	●井田地区⇄温泉津町中心部 ●井田地区内…200円

往路	第1便	第2便	第3便	復路	第4便	第5便
井田地区	8:15	9:50	12:50	温泉津中心部	12:00	13:15
元井田バス停	8:40	10:15	13:15	元井田バス停	12:15	14:00
温泉津中心部	8:55	10:30	13:30	井田地区	12:40	14:15

※デマンド運行の試験運行に伴い(大田市生活バス「井田線」)の以下の2便は運休致します。ご了承下さい。
●温泉津駅 13:35発→ 井田 13:57着 ●井田 13:59発→ 温泉津駅 14:26着

運行区域

井田地区と、温泉津町中心部を結んで運行します。温泉津中心部では以下の乗降場所が乗降可能です。井田地区内であれば乗降も可能です。

予約の方法

1. 電話予約 福光タクシーへ電話。予約の受付は8時15分前までです。
2. 予約受付 予約の受付は8時15分前までです。
3. お迎え 予約者の自宅までお迎えにあがり、目的地まで運行します。
4. 目的地へ 町内の目的地へスーパー、病院
4. ご自宅へ ほかの利用者をお送りしながら、ご自宅まで運行します。
3. 乗り場へ 予約された乗り場へお迎えにあがります。
2. 予約受付 予約の受付は12時0分前までです。
1. 目的地 福光タクシーへ電話。

わからないことは、どんなことでも遠慮なくお電話ください!

0855-65-3771

受付: 8:00～17:00 (お盆は通常通り)

運行に関するお問い合わせ先: 大田市地域公共交通協議会(事務局: 定住推進室) TEL: 0854-411111 ※ご予約・取消等は市役所・支所へご連絡しても、お受けできません。

井田地区 デマンド交通 Q&A

通常のタクシーとは異なります!
(のりあい)で運行する公共交通です。

問1 誰でも利用することができますか?
お子様から高齢者までどなたでもご利用できます。(ただし、車いすでのご利用はできません。)
利用される際には事前登録が必要です。
登録は随時受け付けておりますので、大田市定住推進室へお問い合わせください。

問2 タクシーのようにいつでもどこでも行けますか?
運行時刻(ダイヤ)が決まっていますので、タクシーのように好きな時刻にご利用することはできません。また、利用対象地域を越えて他の地域に行くことはできません。

問3 事前に予約をしましたが、当日変更できますか?
病院の滞りに利用したいのですが、診察が長引いたり薬の受け取り時間が読めない場合、どうすればよいでしょうか?
変更の場合は、**必ず変更される便の出発1時間前までに**運行事業者へご連絡ください。もし早めに診察が終わったり早く便で帰れる場合には、出発1時間前までであれば変更が可能です。ただし、**決まった運行時刻以外の好きな時刻に変更することはできません。**

ご注意

- 乗降の滞り等によっては自宅まで行けない場合があります。
- 井田地区外では、決められた主要施設の乗降場所でのみ乗降可能です。
- 井田地区内ではどこでも乗降可能ですが、道路など安全上乗降できない場所もあります。電話予約の際に、乗降したい場所をお伝え下さい。
- 予約時刻によって、乗降時刻、到着時刻は変わります。時刻に余裕を持ってください。
- 運行時刻は平日の8時～17時です。出発時刻の1時間前までに予約して下さい。
- 第1便の予約は、前日(土日祝日と重なるとその前の平日)の17時までにお願いします。
- 前日の夜を予約の際は、発車時刻に「予約された日」ではなく「お迎え下さい」。
- 行き先の予約時に、帰りの便の予約をしておくことで便利です。

また、地区の自治会長さんへもデマンド運行の説明会を実施しております。ご不明な点などありましたら、自治会長さんや井田まちづくりセンターにもお気軽にご相談ください。

図6-4 デマンド交通の利用の手引の例(大田市)

事業主体: 安芸太田町、交通事業者

実施時期: 平成29年度～平成33年度

目標 2-1 広島市内のアクセス性の向上を図ります

事業 7 広島都心部への広域移動サービス向上の検討

○広島都心部までの所要時間短縮等の検討

- ・本町が進めている定住促進施策において、広島市中心部への利便性の向上（通勤・買い物など）を図ることは非常に重要であり、便数の増加や三段峡線（高速線）の西風新都経由便の導入を検討する。
- ・三段峡線（在来線）は広島都心部の渋滞の影響を受けて到着時刻の遅れが発生するため、町内バス、あなたくとの乗継が課題となっている。引き続き、在来線の課題を分析し、運行の見直し等状況に応じた方法を検討する。

○高速バス（広益線）の戸河内 I C バス停の検討

- ・広益線は、筒賀 P A から加計 B S へ戸河内 I C バス停は経由せず運行している。筒賀 P A は公共交通でのアクセスが困難で、戸河内・筒賀周辺のマイカーを持たない住民の利用は不便な状況である。住民の利用促進と利便性を高めるため、広益線の戸河内 I C バス停経由を検討する。

○三段峡線（高速線）の加計スマート I C 利用の検討

- ・三段峡線（高速線）の加計地域からの利用は、加計 B S より利用できる。しかし加計 B S へのアクセスは加計高速線で連絡しているが、接続便数や乗継など、加計地域周辺からの利用が不便な状況がある。よって高速線を加計スマート I C 利用に変更し、加計スマート I C から戸河内 I C の間は一般道での運行を検討する。

○遅い時間帯の広島都心部からの帰宅便の検討

- ・三段峡線（高速便）の最終便は 19:33 広島センター発となっており、広島市から帰宅が遅くなった場合、高速便が利用できない。
- ・通勤での利便性向上や、広島市内で余暇を楽しむ町民の滞在時間を長く確保（利便性向上）するため、交通事業者、国、広島県、広島市等と協議の上、高速便の遅い時間帯の増便や深夜乗合タクシー等を検討する。

事業主体：安芸太田町、交通事業者

実施時期：平成 29 年度～平成 33 年度

事業8 交通結節点の待合環境の整備

- ・本町の交通体系は、広域路線バスと地域内交通で構成されており、地域内交通は、交通結節点までの運行となっているため、広島市等への広域移動は乗換えが必要となる。
- ・一部未整備の交通結節点では、風や雪がしのげる扉付きの待合施設への改善を図る。
- ・主要な交通結節点では、バスロケーションシステムを活用したバスの近接案内モニターを設置を行い、乗継の不安の解消を図る。



図6-5 快適な待合環境が整備されている
安芸太田町役場前のバス停

番号	行先	発車時刻	遅れ
広島	先発 [74K] 佐東バイパス 広島バスセンター	18:13	
	次発 [] 可部駅前	19:28	
三段峡	先発 [74-7] 三段峡	17:45	32分
	次発 [74-7] 三段峡	20:17	
現在時刻 17:56	加計病院バス停の情報です。		

図6-6 バスロケーションシステムを活用したバスの情報提供（イメージ表示）

事業主体：安芸太田町、交通事業者

実施時期：平成29年度～平成33年度

目標3-1 観光客が利用できる環境を整備します

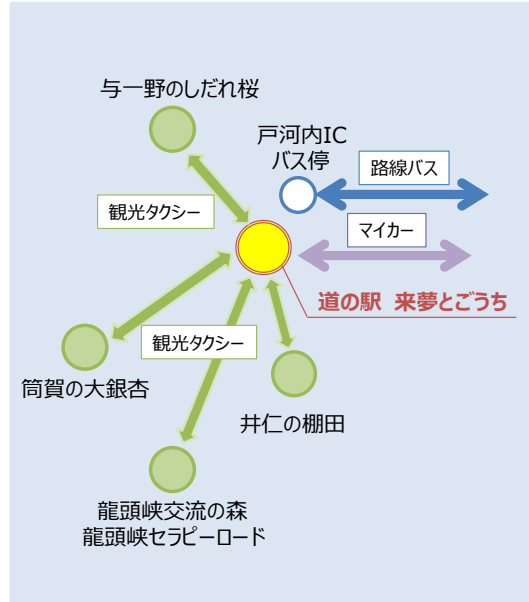
事業9 観光タクシーの検討

○観光タクシーの乗継拠点の整備

- ・バスによる来町者が観光タクシー等に乗り換え、気軽に観光地に行ける、周遊できる仕組みが必要である。
- ・道の駅来夢とごうちを拠点とした観光タクシーの仕組み・導入を検討する。

○モデルコースの設定

- ・本町の観光資源をテーマや地域別に整理し、2～3時間程度で周遊可能なモデルコースの作成を検討する。
- 例)『井仁の棚田』や『与一野のしだれ桜』など、スポット的な観光地と『食』の組み合わせ。近隣市町との連携も必要となる。



○広報戦略

- ・ちらしやパンフレットの作成、安芸太田町観光協会や安芸太田町のホームページへの掲示など、効果的な広報による集客を図る。

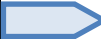
















図6-7 駐車場で観光タクシー、路線バスに乗り換える例（上高地）

事業主体：安芸太田町、交通事業者、観光協会

実施時期：平成29年度～平成33年度

2. 事業スケジュール

個別事業	事業スケジュール（年度）				
	H29	H30	H31	H32	H33
1 町内バス、あなたく等の効率化					
2 バリアフリー車両の導入					
3 乗継時間の調整					
4 荷物運搬サービス導入の検討・実施					
5 地域・集落単位で「公共交通を考える会」を開催					
6 あなたくの利用促進					
7 広島都心部への広域移動サービス向上の検討					
8 交通結節点の待合環境の整備					
9 観光タクシーの検討					

 検討  実施

第7章 計画の達成状況の評価

事業の実施にあたっては、社会情勢や住民ニーズの変化に合わせて、適宜事業内容を見直し、改善する必要がある。このため、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価・検証）、Action（改善）による PDCA サイクルを導入し、安芸太田町地域公共交通会議で適宜評価・検証し、必要に応じて事業の改善を図りながら、計画を推進して行く。



表 7-1 達成状況の評価

目標に対する評価指標	評価するためのデータ	評価時期
あなたくの投資効果	交通事業者からの実績報告	毎年
町内バスの投資効果	交通事業者からの実績報告	毎年
利便性の高い公共交通の整備に関する満足度	安芸太田町第二次長期総合計画による住民アンケート	平成 31 年度
公共交通を考える会の開催回数	実績	毎年
三段峡線の町内利用者数 (平日 PASPY 利用者)	PASPY データ	毎年
広益線、新広益線の町内利用者数	交通事業者からの実績報告	毎年
バス利用観光客数	広島県観光客数の動向調査	毎年

安芸太田町地域公共交通網形成計画策定経緯

(1) 会議開催

会議名	開催日	内容
平成27年度 第1回地域公共交通会議	平成27年6月25日	地域公共交通網形成計画策定の概要説明
平成27年度 第2回地域公共交通会議	平成28年2月16日	地域公共交通網形成計画(素案)の概要説明及び意見交換
平成27年度 第3回地域公共交通会議	平成28年3月23日	地域公共交通網形成計画(素案)の承認
平成28年度 第2回地域公共交通会議	平成29年2月2日	地域公共交通網形成計画(案)の最終協議が調ったことへの承認
町議会全員協議会	平成29年3月1日	地域公共交通網形成計画(案)の説明

(2) 公共交通を考える会の開催

開催地域	開催日	内容
寺領・北部地域	平成28年2月5日	公共交通の現状について
修道・安野地域	平成28年2月9日	公共交通の現状について
那須・打梨地域	平成28年5月16日	公共交通の現状について
平見谷地域・井仁地域	平成28年6月2日	公共交通の現状について
空谷地域	平成28年6月5日	公共交通の現状について
東区地域	平成28年6月11日	公共交通の現状について
坂原地域	平成28年6月12日	公共交通の現状について
松原・小坂地域	平成28年6月16日	公共交通の現状について
修道・安野地域	平成28年6月18日	公共交通の現状について
猪山地域	平成28年6月29日	公共交通の現状について
至誠地域	平成28年7月12日	公共交通の現状について
板ヶ谷・梶ノ木・川手地域	平成28年7月23日	公共交通の現状について

(3) 町民への情報・アンケートなど

媒体	開催日	内容
町民アンケート	平成27年12月	公共交通アンケートの実施
町民広報	平成28年6月号	パブリックコメント募集
町ホームページ	平成28年5月～6月	パブリックコメント募集
町ホームページ	平成29年3月	安芸太田町地域公共交通網形成計画の掲載

安芸太田町地域公共交通会議委員名簿

委員：平成29年3月現在

○：会長

所 属		職 名	氏 名
国	国土交通省中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	茅原 裕則
広島県	広島県地域力創造課	課 長	木村 洋
道路管理者	広島県西部建設事務所 安芸太田支所管理用地課	参 事	山科 謙二
県警察	広島県警山県警察署地域交通課	課 長	佐々木 太平
学識経験者	広島工業大学 工学部環境土木工学科	教 授	伊藤 雅
運行事業者	石見交通株式会社	取締役安全輸送部長	梅田 正美
運行事業者	広島電鉄株式会社	地域輸送営業部長	山根 辰夫
運行事業者	三段峡交通株式会社	代表取締役	栗原 重幸
運行事業者	加計交通株式会社	代表取締役	上手 伸也
運行事業者	有限会社安野タクシー	代表取締役	小田 康雄
運行事業者	有限会社総合企画コーポレーション	代表取締役	松田 直志
町	安芸太田町	町 長	○小坂 眞治
住民・旅客	安芸太田町議会総務常任委員会	委員長	横山 照夫
住民・旅客	安芸太田町民生委員児童委員 高齢者障害者部	会 長	山陰 尚真
住民・旅客	安芸太田町社会福祉協議会	副会長	藤井 幸穂
住民・旅客	安芸太田町身体障害者会福祉協会	副会長	栗栖 定
住民・旅客	安芸太田町シニアクラブ連合会	会 長	森脇 智
住民・旅客	安芸太田町女性連合会	会 長	高山 靖子
住民・旅客	安芸太田町 PTA 連合会	会 長	本宮 炎
住民・旅客	私鉄中国地方労働組合広島電鉄支部	副執行委員長	上田 誠

